THE FIRST MAGAZIN OF WOMAN'S MOVEMENT
IN JAPAN.

婦人問題研究專門雜誌

離婚の研究號

SHIN SHIN FUJIN

新眞婦人

七月號

〔第廿七號〕

再び結婚前の婦人と其の父母に　西川文子

離婚の研究

離婚を少くするには　高島平三郎
離婚に關する思想の變遷　西川光次郎
離婚に關する輓近劇界の思潮　筧生
離婚から起つた隠れたる悲劇　立石生

史劇『月影』に就て　藤生貞子
タゴールの『獻歌』　なかをせいたらう
兒童教養相談所に就て　ドクトル三田谷啓
『女子が參政權を得なば』　平木白星
內氣な令孃の氣質變化　池田勤之助

大正四年七月一日發行(每月一回一日發行)大正二年四月二十六日(第三種郵便物認可)大正四年六月二十八日印刷納本

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

看護婦見習生募集

年齢十八歳以上學力尋常小學卒業以上品行方正ニシテ傳染病ヲ有セザル女子ニ限ル

院長診察　月、水、木、金、午前
林、峰間、兩副長ハ目下當院に在勤

東京麹町區三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町六二番　**東洋内科醫院**

院長　醫學士高田畊安

電話ちがさき二番　**南湖院**

相州茅ヶ崎海濱（従停車場半里）
河野、高橋、兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後。入院、診後應需

諸官署實驗証明
田沢除蝿粉

蝿とり粉

●蝿が全滅する！

田澤除蝿粉は醫學得業士田澤榮氏の發明せる驅除薬にして蝿又は油虫の群集するところに撒布する時は僅か二十分間餘にして悉く斃死する奇効あることは警視廳及内務省衛生局で實驗の結果非常に有効なることを證讃せられた、而かも人畜に少しも害なく防疫上にも最も有効なる驅除薬なることは幾多の證明に依り明かである。

定價	
特罐入　金壹圓拾錢	中罐入　金卅五錢
大罐入　八拾五錢	小罐入　金拾錢

各一罐毎に撒布容器を附す

發賣元
東京日本橋本町三丁目
里村商店
電話本局七四四
振替東京二五六五

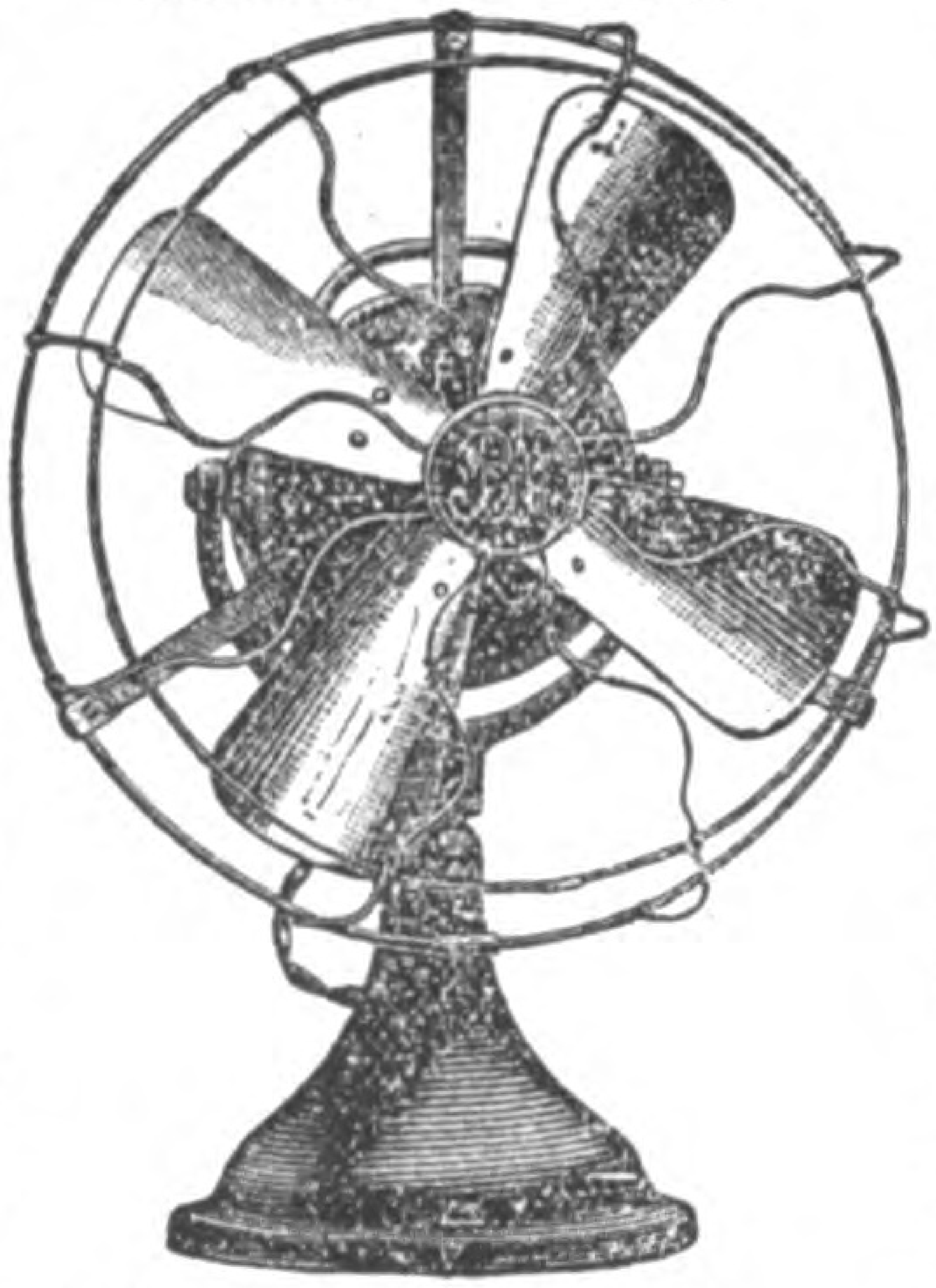
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

The Best Fan Motors

TRADE **BK** MARK

兩羽電氣扇

普通形卓上電氣扇



Desk and Bracket Fan,
12 inche and 16 inche.

專賣特許
實用新案登錄

第二六一二一號
第二九一九三號
第三一九〇三號

第二六一二二號
第三一二五七號
第三二五〇七號

第二七五七九號
第三一九〇一號
第三二五二六號

各國特許出願中
第三一九〇二號
第三三九三一號

是眞ニ模範的國產品

（我國唯一の特許扇風機外國品に比して毫も遜色なし）

東京大正博覽會に於て多數扇風機出品者ありたれども受賞の榮譽を負ひたるは獨り弊商會製品あるのみ

特色

一、成績　頗る優良にして回轉圓滑風力強き割合に電氣の費消甚だ少なし

一、構造　堅牢にして永年使用に堪ゆ

一、體裁　優美高尙にして室內裝飾に適す

一、應用　自在にして調節自由に强弱を變ずることを得

一、種類　十二吋羽根、十六吋羽根、交流用、直流用普通形及び自働回轉式兩羽根付き等數種あり

在庫豐富

豫約及多數御注文に對しては特に割引仕候、御申越次第目錄進呈可仕候

サンデン電氣商會本店

東京市京橋區尾張町二丁目十五番地
電話新橋二四二二番
振替口座東京一八四七三番

支店

東京市日本橋區呉服町十八番地　電話本局一九五六番

大阪市東區心齋橋筋博勞町南入　電話南二二〇五番　振替口座大阪七三四四番

横濱市吉田町一丁目二十九番地　電話一九三一番

電氣器具材料製造販賣

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

銷夏文藝の逸品

新渡戸稻造先生著

趣味横溢

折にふれ

收むる所の文章、百二十餘篇、自然の景物に寄せたる感想あり、社會道德に對する卓說あり、宗教に、哲學に、教育に、文學に、美術に、殆どあらゆる人生問題に對する崇高なる理想、純潔なる情感の閃くところ、簡勁優雅なる文章を成せり、百二十篇悉くこれ多大の趣味あり、教訓あり、以て讀者をして著者の靈的生活の消息に通ぜしむ。——本書の目次左の如し。

四六判上製
定價壹圓貳拾錢
郵稅八錢

●梅●殉道と成功●我が宗教●情と良心●櫻●教科書收賄事件に對する三つの聲●物を視るの地位●模倣●學生●學生の夏期休暇●萩●靈魂神を求む●靈魂自己を求む●『東海吟』●カーライルの教訓●ひれ伏せる肉●實在と理想●日本美術の名譽●京都の萩園●性と行●一般教育と特殊教練●靈魂永劫の尋求●理窟刻み●自制●天賜の用●感恩の念●隱れたる天使●人生の矛盾●クリスマス所感●一閃の思想●島國根性●平民道●教育の缺陷●治亂の心構●東洋の米國主義●二種の尺度●日本の作法、習慣●良心の賞揚と非難●黄禍とスラヴ禍●感恩●秋思●淋しさ●哀吟●國自慢の戒●川ばた柳●天外の音づれ●收穫●波蘭譯『武士道』序●溫故知新●過去と現在●小兒●天の幻象●氣むづかし●月影多し●飛びゆく思想●遺族●感謝の理由●戰後の事業●心的不消化●謙抑●夏天の飛行●母の愛●世の與ふる平和●夏期の注意●和戰の用●十字架●日本の新責務●日本國の時刻●新年の務●生命の喜●冬日所感●平泉にて●春●幻影●武士道の向上●分析●自然の一片●劍と筆●願望●海上にて●大帝國の墟址●半夜●支那は孔子の國か●日本の發達●修養と拘束●墓地にて●現在の責任●沈默の時●神々と共に●我等の間に英雄なし●同窓の久誼●學生の移住●快活●悲哀の用●惡中の善●いふ能はず●亡びんとする國家●朝鮮の原始的生活と枯死的現狀●悲みの功德●時感●一年の幸福●正月●實際の理想に合する處●人物崇拜●春想●一握の鹽●花下にて●夜の教訓●實行宗教●禮節●文字の共義●田舍の道德●爲ると爲ざると●宇宙の調和●望ましき成功●矛盾背馳●供へもの●日本の基督教化●悲の惠●自然より自然の神に●自然主義●大宰府に詣づ

發行所　東京麹町三丁目　丁未出版社　振替口座東京七八四七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

七月號目次

口繪　處女　夜美草
西洋風俗百年間の變遷
再び結婚前の婦人と其の父母に　西川文子…(二)
女の神様　……(六)

離婚の研究

離婚を少なくするには　高島平三郎…(七)
離婚に關する思想の變遷　西川光次郎…(九)
離婚に關する晩近劇界の思潮　寛生…(一三)
離婚から起つた隱れたる悲劇　立石畝月…(一九)
史劇『月劇』に就て　藤生貞子…(二三)
タゴールの『献歌(さゝげうた)』　なかをゝせいたらう…(二四)
兒童敎養相談所に就て　ドクトル三田谷啓…(二六)
短歌　與謝野晶子選……(二八)
女子が參政權を得なば(梗概)　平木白星…(二九)

一年位で死んでもいゝ　長田雪枝……(三五)
親友を亡へる友に　文子……(三六)
日光　近藤なほ子……(三六)
日記から　桃割れ女……(三七)
六月號を讀みて　中里介山……(三八)
四川女史の「貞操に就て」を讀む　小木曾捨男……(三九)
斷片語　大月高陽……(四〇)
十二歳から廿一歳迄の女(續)　みをつくし……(四二)
婚約　有髮尼……(四八)
内氣な令孃の氣質變化　池田勤之助……(五一)
健康問答……(五四)
手紙の返事　文子……(五五)
新發明品紹介(田澤除蠅粉――ボルドー――萬國時差早見表――旅行用美顔術箱――
新製クロニック)……(五九)
新刊紹介(家庭教育の原理と實際――雜記帳――何處に行く)……(六〇)

七月一日發行

文學博士 坪内逍遙譯

沙翁傑作集 第八

新刊

アントニーとクレオパトラ

四六版天金美本
寫眞版木版密畫
數個入全一冊
金壹圓卅五錢
郵稅金八錢

沙翁が偉大なるは其作の彌出でゝ彌傑、特に作意の變化して窮らざるに存す。此作は彼れが爛熟期の最後の傑作、其三戀愛悲劇中の白眉、即ち巧に**世界的悲劇**の契機を捉へて「全世界に君たらんか熾烈なる肉的戀愛を全うせんか」てふ大デレンマに逢着せる**一英雄的放蕩兒**が悽慘なる巧名の末路を活寫し所謂四大悲劇以外に一新機軸を出し以て近代の諸學者をして沙翁作中の**最大驚異**を推賞せしめたるもの殊に**妖女王**が不可端倪的性格の描寫は眞に驚異中の**驚異**古今空絶と稱せらる。次に全篇に漲れる**漢楚軍談**風の男性的政治的興味は――項羽對沛公に擬すアントニー對オクテギャス、隨處に其照應を見出す鴻門の會や烏江の敗や虞公の歎や――は在來諸飜譯劇の未だ移植し得ざりし所、恰も是れ原色を其儘に映寫せる最長尺發聲大活動寫眞畫！

【既刊】

1 ハムレット
2 ロミオとジュリエット
3 オセロー
4 リヤ王
5 ジュリヤスシーザー
6 ヹニスの商人
7 テムペスト
◎好評重版出來

發兌 東京牛込早稻田 振替一一二三番 早稻田大學出版部
東京神田裏神保町 振替五〇一番 富山房 （賣捌）全國書肆

山に海に涼しき夏を樂しまむが爲に、
宜しく好伴侶を擇ばざるべからず

久堅町にて
安井哲子著
定價壹圓 ■郵税八錢

人生雜感
新渡戸稲造博士
定價八拾錢 ■郵税八錢

婦人の典型
アリス・ユークラン著
林靜太氏譯
定價壹圓 ■郵税八錢

ダンテの神曲〔地獄篇〕
山川丙三郎氏譯
定價壹圓廿錢 ■郵税八錢

佛蘭西語自修書
杉本伊作氏著
定價八拾錢 ■郵税八錢

これからは佛蘭西語の世の中です。殊に婦人が心得べき語學としては、佛語が何より必要です。大切です。本書はその最も困難を感ずる發音、動詞の變化の點に充分力をそそぎ「文字及發音」「單語及譯讀」「文法及作文」「會話」の四編に分類し、終りに「熟語及成句集」「不規則動詞變化表」をも掲げてあります。
夏の閑日月を利用して、佛蘭西語を研究遊ばしてはいかゞですか。

發兌 東京京橋尾張町 警醒社書店 振替東京五五三番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▶見よ家庭の福音好評如雷即日再版◀

文學博士 芳賀矢一先生序
文學博士 萩野由之先生序
宇都宮高等女學校敎諭 小林良一先生著

（内容見本は申込次第進呈）

趣味と常識 現代婦人寶典

第一編	家庭年中行事
第二編	家庭敎育論 家庭の意義以下五章
第三編	家政編 主婦以下七章
第四編	禮儀作法編 附 婚禮式外十五節
第五編	文藝編 書翰文認以下四章
第六編	園藝編 蔬菜栽培以下三章
第七編	法制經濟編 政體以下十九章

總クロース、金銀箔、意匠極美 天金函入一〇〇〇頁、頗美本 定價金參圓（送料 市内金四錢 地方十六錢）

本書は小林良一先生が十有餘年の經驗と最近の新しい知識とを以て現代家庭の爲め最も懇切に講述せられたもので上に掲げた要目の外に國勢一般、俚諺、異名、隱語、和漢名數、難訓、事物起源、外來語、新熟語、織物陶器の解説、年號索引等總て現代婦人に必要なる事柄は細大洩さず之を上欄に掲げてある。なほ各編各項の終には之に相當する古今諸名士の研究之だけでも非常に價値を添へ讀んで居る間に知らず識らず趣味性と常識とを涵養される。加ふるに文章は極めて平易に總振假名附であるから、如何なる方面、如何なる家庭にも必要なる良書で本會は全責任を以て特に之を天下の淑女諸君に推薦する。

東京市本郷區駒込坂下四八 **大日本雄辯會** 振替口座東京三九三〇番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○處女

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ロンギー氏

▲肺病救濟

アドルフ博士新發見肺結核治療は醫藥界の新紀元也我國に傳へ公私病院長實驗**不思議**の效果を確認せる全治報告及前警視廳防疫事務官山方先生閲肺病豫防及其治療法と題する書を呈す郵券四錢送れ

男女淋病。梅毒。子宮病。 ちのみち。ヒステリー **腦病。神經衰弱 生殖器病 脚氣。トラホーム** リヨーマチス 胃及腸の病等

一病一劑專門的進步藥を紹介す望の者其病名を記し四錢封入申込あらば豫防と其根治療法書を呈す。

申込所 東京本郷丸山福山町 日本藥學協會製藥部

前判事法學士 莊田要二郎先生序
新眞婦人主筆 西川文子女史序
醫學士 佐々木金二郎先生序
ドクトル 鈴木薫先生跋

日本藥學協會主幹 鴨田脩治著

忽四版

產兒制限論

一名 避妊の研究

洋裝美クロース金文美裝 正價金五拾錢
函入小包封送金八錢

●少く產み多く敎育せよとは產兒制限論の主眼なり、貧窮人の子澤山は子の爲めに益々貧窮に苦しむ戰慄すべき墮胎罪は何んの爲めに起るか、薄幸なる私生兒の增加するは何故なりや、今の生活難の聲は世界の隅から隅まで反響し、避妊法の研究は既に實行期に入りて成績顯著、本書之を說くこと簡にして要を得、略にして疎ならず本邦に於ける現下唯一の珍本なり乞ふ健兒を得んとする人は勿論母體の保護と而して遺傳の恐るべきを知らんとする人々は是非一讀あれ。

●陸軍敎授 西村豐序 鴨田脩治著

第四版

どもり矯正法

洋裝金字入 美本 價金四十錢

本書は墺國醫學博士コオン氏の「ドモリ」矯正法に則り著者が研究の結果世に公にせし者也此書に就て矯正せば如何に「ヒドキドモリ」の人にても數十日の練習にて矯正し得る良書也。

發行所 東京市本郷區丸山福山町四番地 日本藥學協會

ビスケット
ドロップス

品質優良にして好評嘖々たり

近來當會社製品に模擬したる粗悪品を製賣する奸商あり御注意御排斥を乞ふ

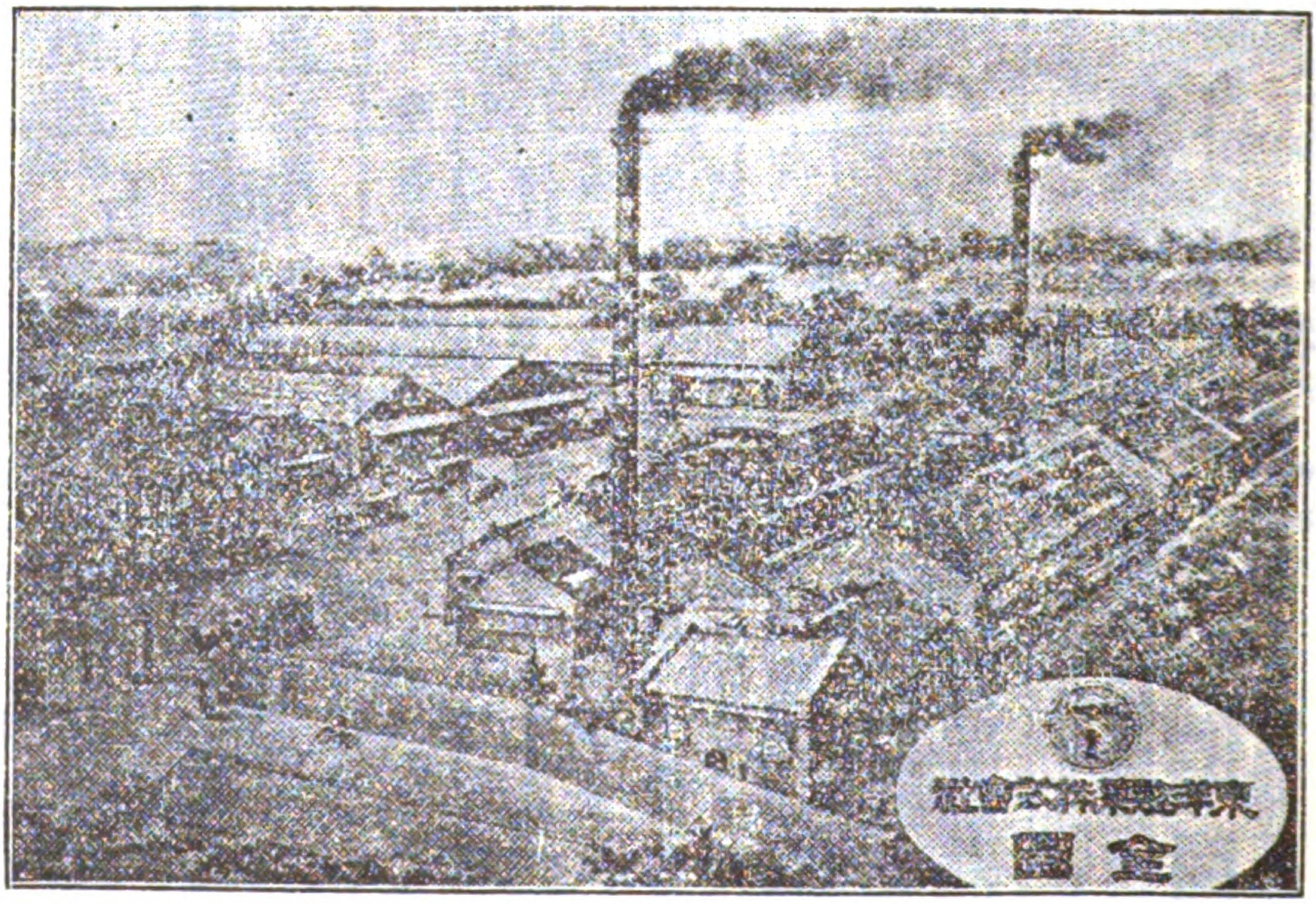
新製品

ピクニック

壹個 金五錢

ピクニックは野外散歩。遠足。運動會等に携帯行糧として至極適當

當社製造品は到る處信用ある菓子舗食料品店に在り



東京品川御殿山

東洋製菓株式會社

電話芝二三三番

松本雲舟譯

改譯縮刷紀念 特價金壹圓

改譯縮刷 何處へ行く

●總クロース上製 天金箱入 ●定價金壹圓拾錢 郵稅金八錢

波蘭文豪の世界的名著『クォヴァヂス』の譯者として松本氏の名聲高し本書世に出で丶既に九年尚多くの愛讀者を有するは原著者の結構頗る雄大にして强烈なる魅力を有するに依ると雖も雲舟氏の靈筆能く之を活譯せずんば焉んぞ如斯を得んや今や玆に讀者の便を謀り縮刷を出版するに先んじ雲舟氏は苦心を以て本書の改譯增補に當られたるが故に面目更に一層の光彩を添ゆるに至りぬ、百合の如き淸きリヂアと熱誠なるヴィニチウスの戀を中心として展開せる壯快悲壯なる物語の妙味を知らんとする者は本書を求められんことを

大島寶水著

五版 戲作滑稽 不如歸

▼定價金四拾錢▼ ●郵稅金六錢

▼五版發行紀念 特價金貳拾五錢

世の中は笑つてばかりも送れねど、さりとて泣いて送るも藝でもねへと、これはまた思ひ切つたる滑稽三昧、湯茶を飮みかけてゐたり御飯を頂いてゐながらは見るべからず、況んや讀むべからず。噴き出して御膳の上を汚し、或は笑泣して鼻に御飯が入る樣なえらい事が起るべければなり。

良書撰擇會編 三陽堂書店發行

○最近類別 改正 圖書 雜誌 總目錄

御希望の御方は送費四錢御送附相成候得者特價目錄と共に御送り申可く候

弊堂が各出版元と契約し特賣しつゝある

○大割引特價目錄

御入用の御方は往復はがきにて御申越次第直ちに御送り申可く候

發行所 東京本郷駒込林町二百卅七番 振替口座東京二五〇一〇番 三陽堂書店

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

近代文豪評傳

第五編　＝新刊出來＝

モオパッサン

□永井荷風先生
□後藤末雄先生　共著

近代世界の思潮を風靡せる佛蘭西自然派の小說家にして世界的文豪たるモオパッサンの著作が我文壇に紹介せられてより既に二十年を閲す。而して未だ一篇の傳記出づるなし本書は實に彼が少年時より、狂して終れるまでの、藝術的一生を明快に評記す。

■四六版帙入美本、定價各冊壹圓、郵稅八錢■

既刊書目

- 第一編　ベルグソン　中澤臨川先生著　再版
- 第二編　ツルゲニェフ　昇曙夢先生著　再版
- 第三編　イブセン　中村春雨先生著　新刊
- 第四編　ゴーリキィ　相馬御風先生著　新刊

好評嘖々たる二大叢書

世界名著物語

▲森鷗外博士　島村抱月先生監修並解說▼

全部十五冊完結す

第十四編　**沙翁物語**　相馬泰三氏著

世界的大文豪シエークスピーアの四大悲劇といはれてゐる傑作四種を收む、一讀卷を蓋ふ能はず

第十五編　**神曲物語**　高月畿之助氏著

ダンテの神曲は實に中世期文明を代表せる大文學なり、本書は高月氏が二年に亘り苦心玉成されたる名著なり

■袖珍型頗美本、定價各冊四十錢、郵稅六錢■

＝既刊書目＝

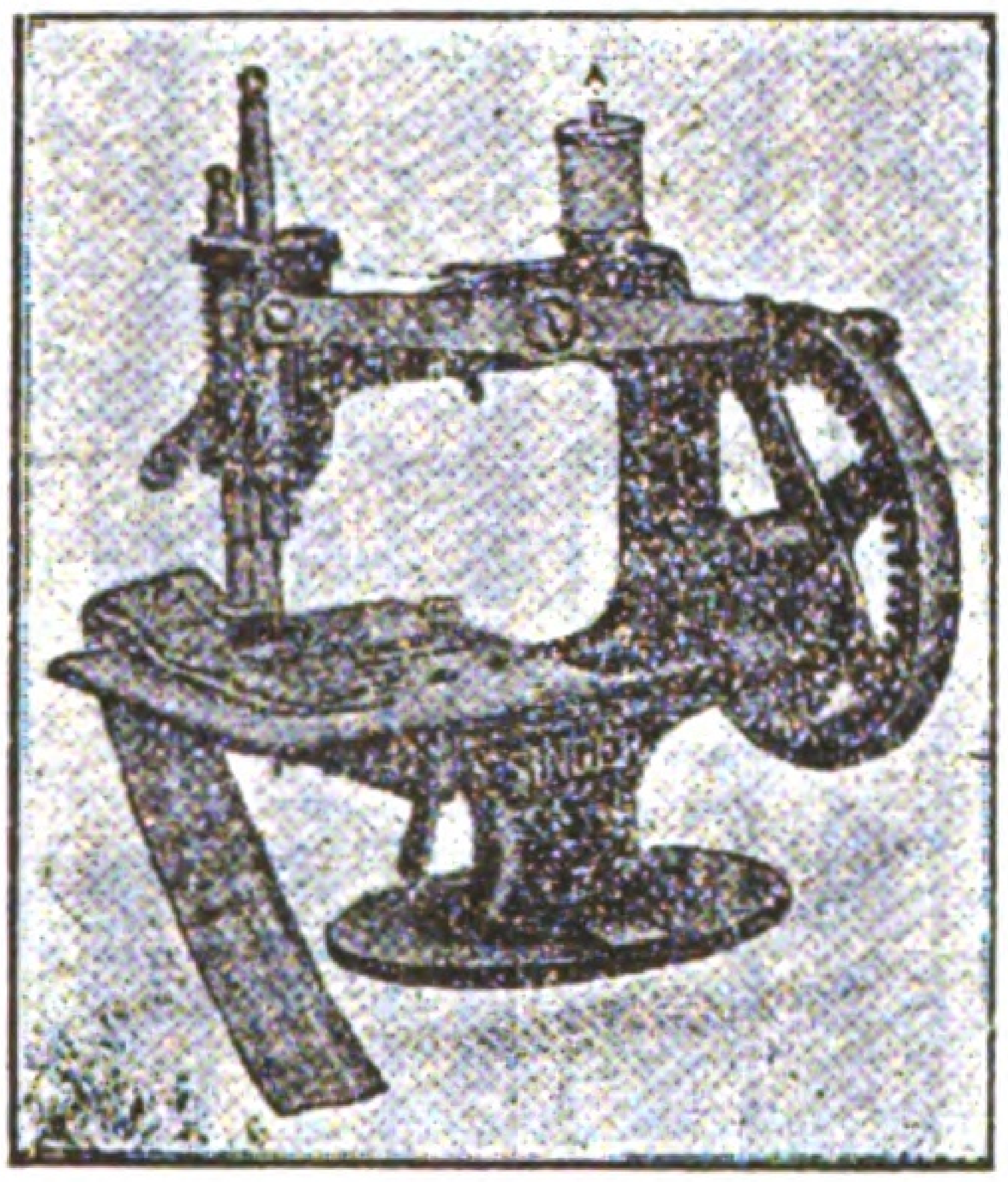
1. ホーマー物語　七版
2. シルレル物語　五版
3. ゲエテ物語　六版
4. アーサー物語　四版
5. ハーデイ物語　三版
6. モリエール物語　三版
7. ユーゴー物語　三版
8. 矢樂園物語　再版
9. 十日物語　再版
10. 水滸傳物語　再版
11. ゾラ物語　再版
12. 源氏物語　再版
13. ドンキホーテ物語　新刊

發兌

東京京橋區南紺屋町
實業之日本社出版部
【振替口座三二六番】

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

趣味と實益と兼備せる
中元御贈答品
小供用ミシン



此ミシンは最新の輸入にして少女諸氏の機械的裁縫の知識を發達せしめ教育上尤も有利なるもの也

御希望ノ方ハ端書カ電話デ御通知次第店員持參御一覧ニ供ス

日本橋區本町二丁目
シンガーミシン販賣店
若林芳郎
電話本局一九八〇番

―(電車は三越前下車)―

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲今年の旅行用化粧具

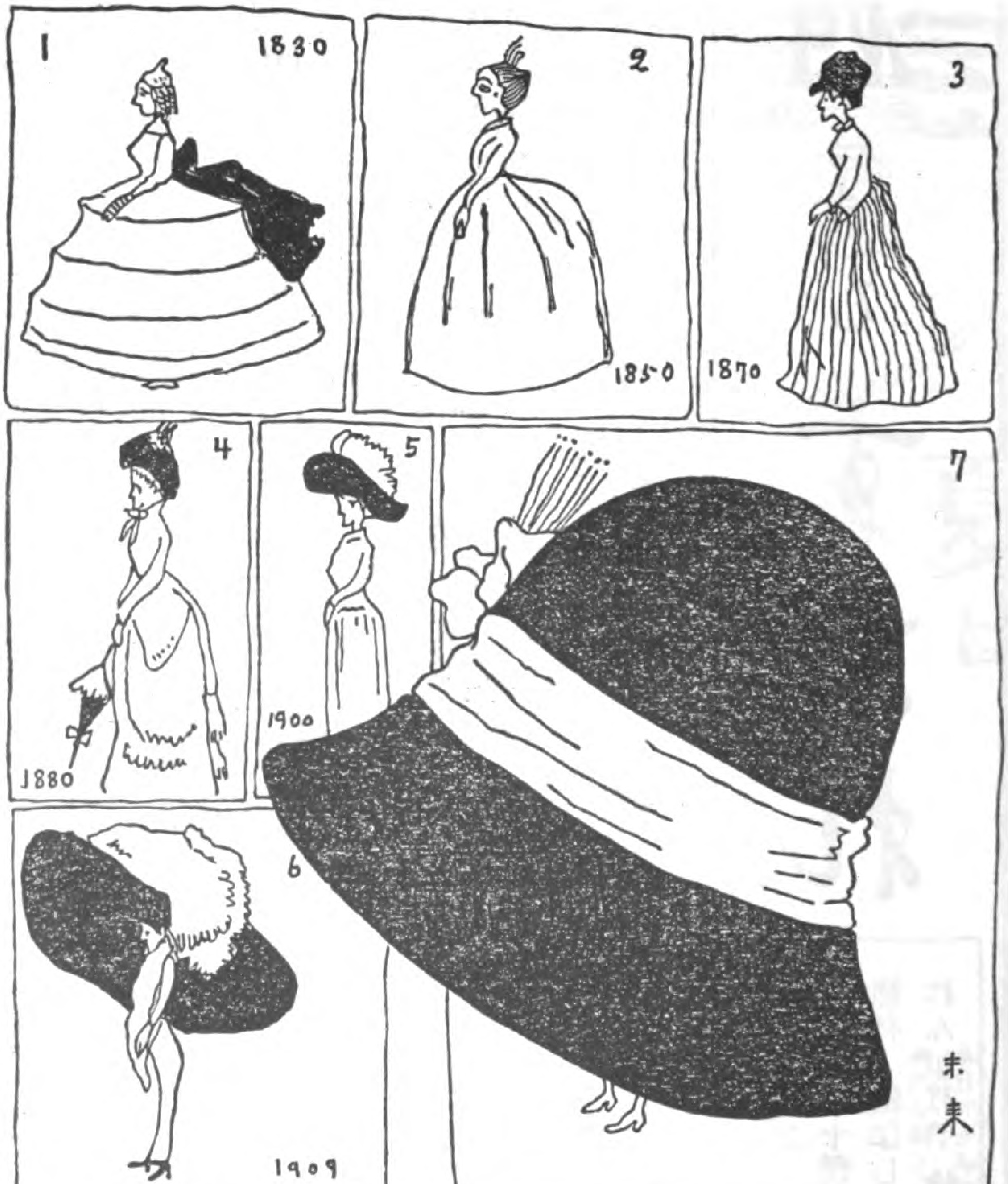
お盆の月となりました。皆様は暑中の御進物に、何を御需めでございますか。當銀座尾張町白牡丹本店では、年々の例により、なほ一層樣式を新にしました、旅行用化粧具入を調製してございます。上掲の通り、袋付外見縞取出しますれば塗竹の懸籠で蓋の裏に、鏡を取附けた特製品で價八圓五十錢中形六圓五十錢小形一圓五十錢清楚好評の品相變らず御用命を願ひます。

東京銀座尾張町

白牡丹本店　松田幸治郎

電話新橋（本店用）五五四番（賣店用）五五五番

＝振替口座四三九七番＝



過ぎし百年間に於ける西洋風俗の變遷と未來の豫想

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

優美なる岐阜提灯

二十四錢より一圓七八十錢位迄種々
白杉、朱塗、黑塗の各種
繪柄は花鳥人物等あり

何れも弊店の特製品なれば品質の上等體裁の宜しき等他に比なく

中元御贈答品

に適當品なるのみならず夏の御座敷には是非一二お備へありたし

東京今川橋

松屋呉服店

清洒なるすだれ

二十錢より各種
二圓五六十錢位迄
緣付、緣なし、半かけ、
れんがけ、繪書入等

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夏は海邊によき友つれて日ヤケせぬよと

光榮ある家庭化粧料ホーカー液は

▲日ヤケを防ぎ
▲汗を防ぎ
▲色を白くし
▲キメを細かにし
▲白粉下、白粉のトキ水に一番よく
▲アレを防ぎ、艶をよくし
▲子供衆の肌を丈夫にし
▲男子方の剃刀後、朝夕洗面後によく
▲香よく香水代用をなし
▲常に用ひらるれば元氣よき美人、美男子となる

於衛生博覽會
名譽金牌

ホーカー液

夏季休暇の御土産、中元御贈答用品としてホーカー液の中瓶、大瓶は各壹個宛桐箱入なれば體裁よく家庭的一般御進物用として最好適品なり

全國到る處の小問物店に販賣す

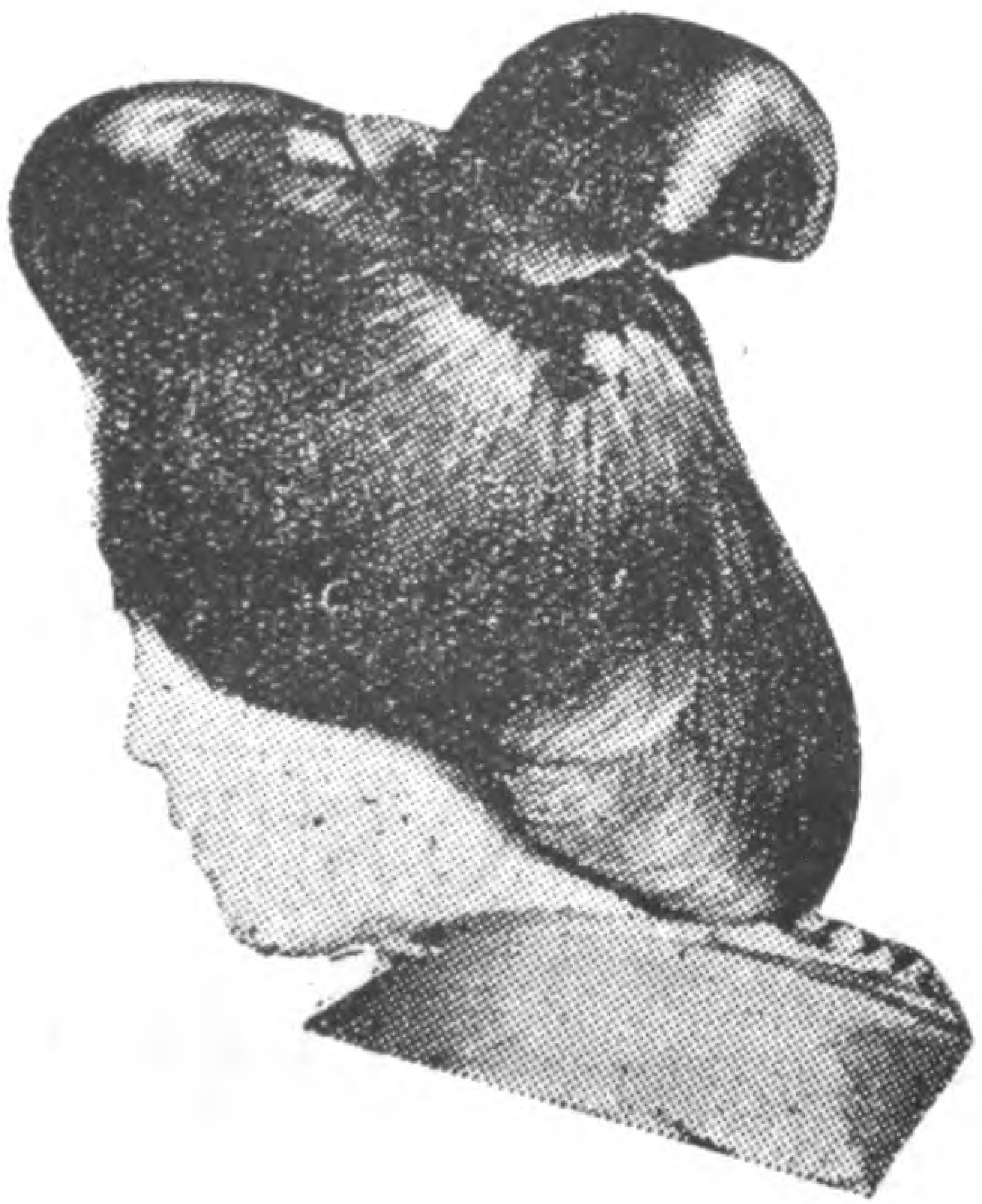
本舖 東京和泉橋 堀越嘉太郎商店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

原料香水

オリヂナル

毎日一滴づゝ



實に好い匂いが致します

●小瓶卅錢 ●大瓶一圓廿錢 ●特大瓶二圓四十錢

●懷中用大瓶一圓廿錢 ●同小瓶七十錢

東京日本橋區 水天宮前

カオール エレンハント 本舗

安藤井筒堂

産科婦人
科小兒科

女醫 吉岡彌生
鷲山改め

院長診察 宅診午前 往診午後

醫員診察 午 後

産室及病室の設けあり随時入院の需めに應ず

東京麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

（電話番町二二五七番）

かつけリウマチス患者は
有名なる克快丸(こくくわいぐわん)を七日分試(かぶんこゝろ)みよ

KOKKWAIGWAN
克快丸(こくくわいぐわん)
リウマチス
かつけ梅毒

藥價 半週間卅五錢 七日分六十錢 送料二錢
半月分一圓廿錢 卅日分二圓半 送料二錢

ばいどくは複方克快丸(ふくはうこくくわいぐわん)を最良とす
七日分七十五錢 送料二錢
十五日分一圓五十錢

東京淺草なみ木町
岡田順天堂

産科
婦人科
篠田病院
（入院随意）

女醫 篠田せい子

本郷區丸山新町
電話下谷四〇六八

リウマチス

▲難病にてあらゆる療法効なく御困りの御方に不思議に早く治る弊店家傳の……………秘藥を御報らせします、御全快の皆様から日々澤山の感謝狀を下されます

東京市淺草觀音仲見世。天勇横通
井筒屋油店
電話下谷……三一五番
振替口座一九六五二番

皮膚科
梅毒科
泌尿器科
腎、膀胱、尿道、睪丸、攝護腺ノ疾患
生殖器科
男女生殖器機能障害
婦人科

日本橋區通二丁目白木屋出口前
電本局三九八〇番
中嶋醫院
院長 ドクトル メヂチーネ 中島鎌太郎

新設 芝區田村町十三番地愛宕下町通り
中嶋醫院

諸官衙各學校御用

萬年筆專門

輸出入各種萬年筆卸賣

陶玉萬年筆
人造水晶筆
最新式ラセン萬年筆
透明萬年筆
其他文具品各種

東京淺草區駒形町四十三

合資會社 共盛社
營業部

電話下谷六〇一九番

振替口座東京七二四三番

明治廿七年創立　東京市麹町内幸町一丁目

仁壽生命保險合資會社

電話新橋二六三、特長二六四、二六五
振替口座東京一二三〇番

堀内新泉先生著

五版出來

人間百種 細君百癖

四六版四百頁總布美本

定價金壹圓貳拾錢

送料八錢

著者の自序に曰く

家庭に成功せむと欲する者は、妻女に其人を得ざる可からず。妻女に其人を得ざらむか家長のみ如何に經營努力の功を積めばとて譬へば底なき桶に水を汲み入るるに似て所謂五十年の不作を免れ能はざるべし。人生の不幸これより大なるものあらむや。本書は『酒の好きな女』以下『常識ある女』に至る迄一百種の女性に就きて其の性狀習癖を研究描寫し、以て現代青年の妻女選擇の一助たらしめむことを期す。幸に此目的の一端を達することを得ば著者の本懐何物か之に過ぎむ。

□內容目次大略□

酒の好きな女
借金取と喧嘩する女
夫おもひの女
何でも知た振をする女
針の持てない女
上手に夫の機嫌を取る女
夫を尻に敷く女
誠に無性な女
近所隣の迷惑をかける女
夫に甘へる女
誠に邪猜深い女
男見た樣な女
潔癖な女
人に食べさせて喜ぶ女
子供の喧嘩に飛び出す女
勝氣な女
世帶持の上手な女
無愛想な女

新らしい女
容姿自慢の女
法螺ばかり吹いて居る女
我子の酷く當る女
我子を自慢する女
力の強い女
至つて悋氣深い女
馬鹿に夫を褒め立てる女
負嫌ひな女
だらしのない女
妙に物を隱したがる女
人附の惡い女
夫の勇氣を皷舞する女
これは困つた癖のある女
演劇好きの女
夫を大切にする女
夫に友達を失はせる女
何かと云へば泣き出す女
（以下百）

發行所 東京市本郷區本郷一丁目大通 振替東京一二五五八番 電話下谷四三六二 日東堂

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京日々新聞記者 小野賢一郎君著

女?女?女

洋裝函入頗美本四百頁

金八拾五錢

送料金八錢

東京市京橋區南鞘町 振替東京二七九八八 興成館

あな怖ろしきは女なり、されど戀しきも亦女なり、可惜ら男が世を振り棄て山に入り水に漂ふ無分別も畢世の英雄が泣いたも元は戀のため、思へば世間幾千萬の男兒悲しいかな彼のため多少の手疵おはざるはなし、夕宵に浮ぶ藝者の艶姿は浮世の苦を包み、粋な端唄の爪彈は己が身を唄ふか、夫は妾の附屬物ですの、いや女は美といふもの丶生靈だの、いや交際場裡の王樣ですとぬかして歡樂に醉ひ戀に狂ふ女女はそも如何なるものぞ!!兎角女は始末に行かぬもの、本書一卷世の中幾千萬の男女の眼には如何に映ずるか?是れ天下の一大奇書!!

問題の書

目次概略

▼戀の照葉
一、八千代の妹
二、生々しい小指
三、戀人への手紙
四、怨の手紙
五、照葉の戀がたき
六、向島の香浮圖
七、裁判所の呼出し
八、照葉の小説
九、二階で燒香
一〇、照葉の行方

▼美妓萬龍
一、新福富町
二、お母さん
三、おばあさん
四、父の墓
五、恒川君
六、繪葉書美人
七、命の恩人
八、大丸まげ

▼お光の話

▼匕首を抱いて
一、午前三時
二、尼さん
三、變な女
四、女學校の先生
五、惡魔の力
六、無慘の姿

▼お鈴の行方

▼東京の女
一、江戸女の名殘
二、新らしい東京の女
三、覺めたる女優
四、女優の自炊生活(一)
五、女優の自炊生活(二)
六、西洋かぶれの化粧
七、引眉毛の流行
八、七つ屋の話
九、質屋の世間話
一〇、悲しい喜劇

▼淺草の女
度胸のいゝ男裝の女
吉原の强敵としての淺草
一例は「お光の話」
人の性は善

▼女優の生活

▼血塗れの女

▼瀧壺の女

▼漂泊せる婦人
影うすき母と子
地方から來た女學生
鏡にうつる女の姿
親に捨てられた子
女優の劣敗者

▼惡魔の手に
三人の小説
魔の淵へ
探偵小説
呪ふべきものは

▼樺太お玉

▼女優熱

▼外人夜の祕密

▼漂泊せる美人
上、旅役者の妻
一、役者の手紙
二、能代港の奇遇
三、大森海岸の心中
四、車から見た女
下、白鷺の女
一、思ひがけぬ手紙
二、小説の筋書
三、小篠の家
四、哀れ二年の命
五、重なる不運
六、意外な鏡花會員

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人

七月號（第廿七號）

本誌の抱負

婦人の自覺を促すこと

婦人の職業を奬勵すること

家庭を立憲的組織と爲すこと

婦人倶樂部を設立すること

都市を、社會を、國家を母性化するに努めると、此等の希望を達せんが爲めに、私共は其の任に堪へ得るの婦人を養成せんことに、微力を致さんとして居るものであります。

されば本誌は、婦人の修養、家庭の改善、婦人の社會事業などに關する記事、論文を掲載し、斯種の雜誌としては、日本唯一のものであります。

又歐米婦人運動の雜誌を多數に取りよせ、其等の粹を抜きて、常に譯載に努めて居ます、之れ日本婦人も世界の大勢に後れぬようとの微意からであります。

日本婦人の進歩を欲する男女は來りて本誌の發展に助力せられよ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

再び結婚前の婦人と其父母に

西川文子

私は嘗て本誌三月號に『結婚前の婦人に』と云ふので配偶者の選擇、職業について、結婚について、自己をよく知り、配偶者を撰ばねばならぬ事、及び結婚を單に婦人が職業の如く考へたゞ結婚を待つ心もちでゐないで、娘時代から職業の經驗を積まねばならぬ事を論じておきましたが、あれには結婚間際や、結婚後の影響を多く注意しましたが、もつと〳〵若い、學生時代にある婦人や其の父母に是非とも忠告しなければならぬ事の數々を私は痛切に感ずるので、今一度細密に書くことにしました。

父子間に理解のない爲めに

切角芽んで來やうとする若芽を枯らして了つたり、危險な狀態に導く事がどれ丈けあるか分りません、例へば五月の二十七日に讀賣新聞の婦人附錄に『婦人記者の天才』と云つて紹介された某婦人は前々から文才があつてのびやう〳〵とするのを、其のお父さんは婦人は家事のみをするものだと主張せらるゝ處から消極的に何事もさせまい〳〵となさるので、自然反動的に新聞社に訪問される樣な事にもなつたのです、處であの盲啞學校見聞記が讀賣新聞に揭載されると父上の怒は頂上に達し、そんな事を何の爲めにする？、そんなものは家を出て行けとまで云はるゝに至りました。而して遂に娘の家出と云ふ事になつたのです。

婦人は家事をのみするものと云はるゝお父さんならば猶更うら若い娘に家出を迫る事の如何に危險であるかと云ふ事に氣づかれぬ筈はないでしやう、眞に娘の爲めを思はるゝならば、娘の心を理解して家事の差支

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

へにならない其の餘暇で勉强する樣にと云はるゝが至當ではありますまいか、茂らう〳〵とする若葉はどうしたつて茂らずにはおかないのです、さうした場合娘を追出すなど〻云ふのは眞に娘の爲めを思ふと云ふのではなく、やはり親の我儘なのです。娘が幸に親の云ふなりになれば、天才あるものも踏みにぢられて了ひ又反抗しても自由にのばさうとすればどんなに危險な道に導かれるか知れない。

娘自身の自覺なきが爲に

前例と違つてさう早くから天才の閃きのない婦人はたゞ周圍から婦人はかくあるべしと定めらるゝまゝに早婚して了ひます。而して他日自覺した時には、生活が複雜になり、自己は最早や自己一個のものではなく、夫や小供や自分やが自己全體である、否、自己は大きな自己の其一小部分であることを發見します。さうなつては日常生活の凡てを我が思ふまゝに振舞ふと云ふ事は到底難かしい事になるのです。そこでいくらつきつめて考へても徹底しない事が結局で、理想と現實と知識と實際と妥協して了ふ樣な事になり易い、だから今後の婦人は早婚をさけ、娘時代に出來る丈け知識的追求をし、寂寞をも孤獨をもドン底まで味はつて、自己を綿密に解剖し、徹底したる自己の本體を捕へなければならぬのです。それ丈けに自由に解放し、勉强も出來る丈けし、自己發揮も充分して見てもあまり伸ばし榮えがなければ、いよ〳〵自分に才のない事が分つて、立派にアキラメられましよう。又いくら家庭から解放しても〳〵家庭的性格の婦人は家庭に歸つて來る事になる、それを無理に囚へておかうとすると『若し私をして自由に行動せしめたならば』と云ふ不遜な潛越な情に驅られて、不滿を抱かしめるに至るのです、で私は若い婦人にはどこまでもおのびなさいおのびなさい、父母の君には又心配せずに解放なさい〳〵とおすゝめしやうとするのであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

僞らざる敎訓

をする人が世にどれ丈けありましやう、自分は自我を通し、最高の敎育も受け、獨立する迄にのびた敎育家先輩も、若き婦人には父や夫に從順に從ひ犧牲的におなりなさい、自己發揮などは我儘な行爲だと忠告する又舊い犧牲道德を强ひられて墓穴に入る迄も、自己を考へて見る事も出來なかつた祖母や母も、自らはつくづく世のあぢきなさをかこつて居ながらも、我が子には自我を捨てゝ私達の意見に從ひなさい〳〵と申します。眞に自己の失敗を失敗とし、後悔を後悔とし、若き婦人への忠告を與へ後車の誡を垂れやうとする人がありましやうか、私は人々の進むべき道は實に十人十種であると思ひます、人々其の容貌の異なる如く個性も違へば、從つて取るべき方針も違はねばならぬ、婦人だからとて十人が十人かくと定められたる定規に當てはまるものではない、婦人は屹度優しいもの、家庭のものと定めてかゝるのも因襲的無考な習俗に囚へられてゐるのです。私は比較的に自由に敎育され、長く學校生活もして來たけれども、今の私の樣な本當の親切な心持ちを以て眞に私を勵まされた師は一人もなかつた、主として形式と義務とで敎を授けられた迄である。もし先輩が私の今の樣な氣分で私を導かれたならば、私は自分の豫期した通り西洋にも學ぶ事が出來たのに私が弱かつた爲とは云ひながら、一面には先輩によつてさまたげられた。それに反抗しても爲しとげる丈の私に要求が無かつたのは惡いけれども若い時はさもなくてさへ未知の社會へ行く事は心細く覺束なく思はるゝのだから、先輩の聊かの故障にもさへぎられ易いのは自然です。私は自分の此の經驗から、若い婦人達に、娘時代に進める丈け進みなさい、どこまでもおすゝみなさいとおすゝめせざるを得ないのです。娘時代にはわけもなく許さるゝ洋行でも、一度途切れると容易に途の開けないものです、消極的に婦德を敎へられる先輩はありあまるほどあつても、後進婦人に他日悔を殘さぬ樣に飽まで進めとの忠告を與へる者は尠く

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ない。よし凡ての婦人に獨身主義で通す覺悟で、どこまでも知識的慾望を滿足させなさいと云つたからとて愛情の熱烈なものはやはり早く結婚して了つたり、困難に打勝つ意志のないものは普通の婦人になつて了ふのだから、心配するには及ばないのです。

職業に就ても

若い獨身時代には生活に必要なものとては、極僅少で濟むのだから、生活を第一義に考へるのはどうかと思はれる、私は今でも其の方針であるが、殊に若い身輕な人々にはさうおすゝめする、自己の長所、理想趣味に生きて、內面的自己を如何に展開して行かうかと云ふ事を考へて職業を撰ぶのが第一義です、職業を撰ぶと云ふよりは自然に自己の長所そのものが職業になり生活も亦ソレによつて自然に出來る樣になるのが、ホントであります。例へば生活を第一義として考ふれば、女中でもすれば最初から生活の保證さるる上になほ餘裕もあり樂な樣であるが、其の代り女中は何時までしても女中である。之れに反し一ケ月でも一年でも見習ひとして敎育さるゝつもりでする仕事は、最初は全く犧牲の樣に見えても、犧牲が長ければ長い丈け、結果が大きい。最初拂つた犧牲が、やがて凡て自己に歸り報いらるるのである。此點に於て男子より婦人は近視眼であると私は常に慨はしく思つてゐる、つまり婦人には先の事を豫じめ考へる力が足らないのである

結婚してから

も日一日と向上進步する樣に心懸けなくてはならぬと云ふ事は私の日頃から論じてゐる事であるが、何しろ前にも述べし如く結婚すると人生が複雜になつて、自分の欲する事は周圍に大變な迷惑をかけはすまいか、と考へたり夫の爲め子供の爲めに勞力をさかねばならぬ事も、心を曲げねばならぬ事も非常に多くなるから六づかしいです併し私はそれを犧牲だとは決して思はない、自己の愛情、理性でさうするのだから、もしそれをしも犧牲だと思はるゝ位薄弱な愛情しか持たれ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ないやうな家庭や、夫小供であるならば振り捨てゝもいいし、又それ等を棄てゝもより以上に生きる意義あり價値ありと云ふ自信ある人は捨てゝもいゝでしやう、それは大天才は凡ての我儘を通しても生きて行かれる様に、社會も人も自分もそんな大きな人には平凡な犠牲になつて貰ふよりは、其の天才の發揮を要求してゐるからです、けれどもそれ丈けでないものがたゞ其の氣分を學ばうとしたり又絶つにたゝれぬ強い愛情のあるのに、たゞ一片の野心功名心の爲にそんな道を取つたからとて生きても行かれねば、無意義なる失敗に終るのである。こんな人が少しの不便や勞力をさく事を犠牲と考へるのは全く間違なのです。然し其の爲めに内部にあるものが忘却されて現はれぬのも爭はれぬ事實です、だから前にも云つた様にのびるものは充分結婚前にのばす準備をしておかねばならない、人の行き道にはさま〲あるのだから、家庭に盡す愛情、一家族から受ける滿足を社會一般に施し且つ報いられてもいゝではありませんか。

女の神様

△和井内夫人　秋田縣の十和田湖畔に、和井内夫人が神として祭られて居る。之れは十和田湖に養魚事業を起して、湖畔の住民に益を與へた所から、德とせられて、神として祭らるゝに至つたものである。

△愛野御前　滋賀縣近江國野州郡中州村大字立田字里之内に、神として祭られて居る。此の婦人は、天文八年八月、洪水にて村民苦しみし節、進んで人柱となり、村人之れに勵まされて堤防を完成する事が出來たので、德とせられて祭らるゝに至つたものである。

△於幾多　備前國上道郡沖田村大字沖元に神として祭られて居る。此の婦人は元祿年中、池田家の家老津田永忠が備前の海邊三里の間に新田を設けんとの計畫を立てた時、人柱となりし人である。

△吉野鶴女　大分縣下毛郡鶴居村に神として祭られて居る、保延元年八月十五日、洪水の時村人の爲めに人柱となつたのを德とせられてである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

離婚の研究

離婚を少なくするには

高島平三郎

（一）

日本の在來の離婚は多くは『家風に合はぬ』と云ふを理由としたもので、夫に氣に入らぬと云ふよりは、親の氣に入らぬ嫁が多く離婚されたものです。ソレも其の筈、當時は嫁は息子の嫁でなくて、家の嫁であつたから、家長の氣に入らぬものは去られたものなのです。今でも家長に家族に對して絕對の權力あるの事實は飛驒に行くと遺つて居る。昔は家長が命令すれば家族は何んでもせねばならなかつたもので、姦通をしたと云ふ樣な場合には、家長が公然手打にしたもので其の疑ひがあつても、充分離婚の理由にはなつたものです。どうも昔風の結婚や離婚の形式が、今日尙ほ遺れるは、日本の將來の發達の爲に悲しむべきである。

（二）

統計の示す所によれば、日本の離婚數は、結婚の三分の一に相當して居る。三人の娘あれば一人は離婚されて歸つて來ると云ふ次第です。事實を云へば米國にも離婚が隨分と多いが、併し習慣が保護して居るので統計に現はれた所は、日本程多くない。日本に離婚の多いのは、一は勿論離婚が餘りに自由なからではあるが、結婚に際し、調が屆かざりし爲め、行て見てから兩方共に案外の思ひを爲し、妻も驚き、夫も驚くのが大きな原因である。此等も將來の日本の道德なり、風敎なりを進める上に、注意せねばならぬ根本問題であ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ると思ふ。

モウ少し女の人格を認めて、親が其の娘に充分な敎育を與へて、撰擇の自由を保護してやらねばならぬがソレと共に處女の理想を高めることも必要である。今日の樣に虛榮に憧憬れて、身を飾りたい、贅澤をしたいが心一杯で、其の願ひさへ叶へば、向ふの人格はどうあらうと、直ぐ承諾して結婚する樣な女の多い中は離婚の不幸に會ふ女が多く、縱ひ他の朋友に對する虛榮からして、强ひて忍耐し、離婚にはならぬまでも、精神病になる婦人の隨分と多いのは、之れは實に止むを得ないことである、であるから結婚に就ての理想を新にすることが何によりも大切である。

一面には又女に財產を持たす習慣を養ひ、イヤ／＼ながらも、獨立して生活の出來ぬ爲め愛情のない夫に嫁するの風を改めることも肝要である。

又靑年男女の交際が盛んになつて、兩方が異性の長所短所を知る樣になつて、配偶者の撰擇を過らぬ樣になることも大切である。

（三）

今日我國に行はれて居る離婚の中には、互がモウ少し努めたならば、理解の出來るものを一時の感情で、大切な約束を破る樣になるものも少なくないと思ふ。殊に我儘に育つた男女の間にあつては、僅かの氣に入らぬことがあつても、離婚を迫り、お互に自分の方からは融合を努めぬ、之れが一時の感情の爲めに起る離婚の原因として多數を占めて居る。若し夫妻の何かから忍耐して融合を計つて行つたならば、比較的容易に理解が出來て、多くは離婚の如き不祥事を見ずして濟む事が出來るだらうと思ふ。さればかね／＼コウ云ふ機會のあり得ることを警戒して出來得る限り忍耐し神聖な約束の永續に努めねばならぬ。

又自分を捨て夫の爲めにする考のない夫人にても、若くして容貌美しく、此の點に於て夫の愛を引ける間は、夫を忍耐さすことが出來るが、之れが衰へると不平が一時に勃發して來て、遂に衝突を來たすに至る。互に己れを捨てゝ盡し合ふ點に於て眞の結合が出來、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

互に捨て合ふので、互に自己を發展さす道も存するのであることを知らねばならぬ。世に此の沒理的の微妙な人心の作用を知らぬ爲めに、互に猥りに小自我を主張して、遂に離婚の悲慘を見ることの多きは悲しむべきことである。斯かることは經驗のない青年男女には到底充分理解し難い事かも知れないが、經驗のあるものは此の微妙の點を指導してやることが必要である。併し余は、結婚を以て、如何なる事情があつても、離るべからざるものであるとは認めない。合意の上離婚して、雙方ともより幸福を得る場合もあらうから、離婚を絶對に排斥は出來ないが、有らゆる點から考へて、若し能ふことならば、離婚を少なくすることに努めるのが必要である。殊に小供があつて、長い間同棲せる夫婦が離婚するが如きは極めて悲慘であるから、互に注意せねばならぬことであると考へる。

離婚に關する思想の變遷

西川光次郎

（一）

昔は『家風に合はぬ』と云ふのが、離婚の主たる理由で、離婚の宣告を下す人は、夫の父である場合が多かつたのである。併し其後ダン／＼さう云ふ風の理由での離婚は少なくなり、父が昔氣質で『家風に合ぬ』を理由として、强ひて嫁を離婚せしめやうとする場合には、若夫婦は一緒に家出をすると云ふ風になつて來たけれども、尙ほ妻君が夫の氣に入らぬ場合には何時でも、所謂三下り半で、造作もなく離婚されたものであつたが、明治三十一年に新民法が施行さるゝに至つて後は、ソウ無雜作に離婚が出來ぬことゝなつた。新民法は離婚に關して左の如く規定してある。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第八百八條　夫婦は其協議を以て離婚を爲すことを得

第八百十二條　協議上の離婚を爲したる者が其協議を以て子の監護を爲すべき者を定めざりしときは其監護は父に屬す。

父が離婚に因りて婚家を去りたる場合に於ては子の監護は母に屬す。

前二項の規定は監護の範圍外に於て父母の權利義務に變更を生ずることなし。

第八百十三條　夫婦の一方は左の場合に限り離婚の訴を提起することを得。

一、配偶者が重婚を爲したるとき

二、妻が姦通を爲したるとき

三、夫が姦淫罪に因りて刑に處せられたるとき

四、配偶者が僞造、賄賂、猥褻、窃盗、强盗、詐欺取財、受寄財物費消、贓物に關する罪若くは刑法第百七十五條第二百六十條に掲げたる罪に因りて輕罪以上の刑に處せられ又は其他の罪に因りて重禁錮三年以上の刑に處せられたるとき

五、配偶者より同居に堪へざる虐待又は重大なる侮辱を受けたるとき

六、配偶者より惡意を以て遺棄せられたるとき

七、配偶者は直系尊屬より虐待又は重大なる侮辱を受けたるとき

八、配偶者が自己の直系尊屬に對して虐待を爲し又は之に重大なる侮辱を加へたるとき

九、配偶者の生死が三年以上分明ならざるとき

十、壻養子縁組の場合に於て離縁ありたるとき、又は養子が家女と婚姻を爲したる場合に於て離縁若くは縁組の取消ありたるとき

民法第七百七十五條に『結婚は之を戸籍吏に屆出づるに因りて其効力を生ず』とあるので、從來許婚婦人若くは內縁の妻が、理由なくして離婚されしを怒り、裁判所へ訴へ出ても何時も敗訴となつて居たのであるが、本誌四月號で紹介した通り、今回新しき判決例が出來て、許婚婦人も、內縁の婦人も法律上保護を受け得ることゝなつた。

今の民法では妻の姦通は直ちに離婚の理由となるが夫の場合には、姦通も、所刑されぬ時には離婚の理由とならず、蓄妾の如きも離婚の理由とはならないのである。矯風會の人々は之れは不公平であると云つて、其の改正を希望して居るのであるが、私も早く之れが改正されて、夫の姦通も直ちに離婚の理由となることに、なれかしと望んで居る一人である。

（二）

所謂七去の說は

父母に順ならざれば去る、子無ければ去る、淫すれば去る、妬なれば去る、惡疾あれば去る、多言なれ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は去る、竊盗すれば去る、と云ふのであつて、此の中の『子無ければ去る』『妬なれば去る』『多言なれば去る』などは隨分とドイ。從來日本に於てはコンナことを理由としてゝも離婚が出來た程に、離婚は自由、否無造作であつたのである。之れが新民法の實施後ャ、制限さるゝに至り『民法實施が幾分か離婚に關する惡俗を移し、陋習を化するの力となつた』と識者に悦こばるゝに至つたのである。

西洋では之れと正反對で、中古以來、離婚は殆んど絶對に許されなんだのである。『神の合せ玉ふたものを人之れを離すことが出來ない』と云つて、離婚は姦淫の場合の外は、如何なる理由があつても、許可されなんだのである。ソレで日本に於てとは、別種の弊害が百出した。離婚を絶對に許さゞる結果、反て不幸な人間が増えた。ソコで自由思想家は永い間戰ひ、やつとのことで『結婚も一種の契約に過ぎない』と云ふ思想を普及することが出來、其の力で法律で離婚の場合を規定するに至つたものなのである。

即ち日本では、離婚に就ては、極端な自由から、ャャ制限さるゝ方へ進み、西洋では、極端な不自由から、ャ、自由に進み、玆に離婚に就ての東西の思想、略ぼ一致するに至つたのである。

（三）

離婚に就ての思想の變遷の大略を申せば、以上の如くである。終りに私は、半ば離婚の狀態にある婦人の増加に就て一言して置きたい。西洋では、夫が殖民地へ行て、妻君が本國で留守をして居る。議員が議會の開會中都會に集り、其の妻君達は田舍で留守をして居ん。又夫が外に出て事務に忙殺され、妻君は宅で閑殺されて居る、と云ふ樣な場合に此等の妻君のことを、グラス、ウイドーと云ふソウなが此のグラス、ウイドーは獨り西洋に於てのみならず、今や日本にも非常な勢を以て増加しつゝあるのである。

特に憐れなのは、夫が失業した場合に、暫らく田舍へ行て居れと云はれて、實家へあづけられる夫人の増加しつゝあることである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私は斯かる場合に、夫婦が暫らく別々になつて、開運の時を待て再び一緒にならうと云ふのに贊成することが出來ない。夫婦は一體である。夫と共には南極北極にも行くべし、場合によりては倶に餓死するの覺悟もあつて然るべしであると考へる。

離婚に關する晩近劇界の思潮

寛生

（一）

白い薔薇のやうに清淨無垢な處女サロメも豫言者ヨカナアンの豐滿な肉體を見た刹那には、强烈な官能的憧憬に囚へられ、銀皿に載せた戀人の首級を得、狂喜してその苦い唇に接吻するほど能動的な積極的な女性に豹變して了つた『フアン・ド・シエクル』の糜爛した耽溺生活に沈湎するデカタンは忽然一轉して極端に嚴肅なる道德乃至宗敎生活に三昧となる。理想主義の次には實利主義が權威を握り、濃艶なる色彩の流行は瀟洒な趣味によつて代られる。古き殼の下には新しき欲求が萠き、新たな欲求は力となり反抗となつて、舊き砦を毀たねば止まぬ。宇宙の萬物は反動の浪線上を恒に永久に滑つてゐる。この反動あり動搖ある處に初めて潑溂たる新鮮の雰圍氣が釀し出され、その內に前へ上へと進んでやまぬ『生の力』が閃渡るのである。

この意味に於て理解ある反抗は尊いことだと思ふ。

そこで晩近の歐洲劇界を概觀すると、大分離婚の問題が取扱かはれてゐる。與へられた紙數に制限があるから極く簡單にその輪廓だけを畫いて、詳細は他日に讓ることにする。

イブセンの『人形の家』の大詰でノラは自己の獨立を絶叫して良人を捨てゝゐる。ノラの理論は極めて單

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

純で、要するに建設的な關係に入る前に先づ獨立した個人でなくてはならぬと言ふ一點に歸着するやうだ。併しこれは多少の非難を免れまい。と言ふのは若しノラに小供が無いならば、それは自己の獨立のために夫を捨て家を棄ててもそこに敬慕すべき何物かが存在するけれども。また頑固な舊道德と根强い常套とに向つて憤然として反旗を飜した程の氣强い負ん氣の女が、その氣儘な良人から、怒にまかせ、子供の母として到底任に堪へない奴だと罵倒されたときに、言甲斐なくもこれを承認してゐる。何故、その時に今一歩を進めて更にその子供をも個人的に敎育しやうとは思はなかつたか？

兎に角徹底せるノラの個人主義と結婚生活とは相容れなかつた。ノラは自己の主義のために家も夫も小供も見捨て去らうと踠いた。そこで愈良人が思切つてノラを手離す段になると、今まで安全な家庭といふ籠の中に何不足なく飼れてゐた小鳥のノラは自由の天地は得たものの今更のやうに社會の荒浪に恐氣付いて再び夫の手に歸るといふ譯だが、イブセンはその『幽靈』で更に一層深刻な例をあげ、花柳病に罹つてゐる陸軍士官を妻が嫌惡つて、その愛人なる牧師へ走る。牧師はその女と關係を付け乍ら、世間體を憚つて、神樣の心と道德とに悖るといふ口實のもとに女を夫へ歸らせ、夫婦は互に虛僞の結婚を續けて行く。夫の死後父の病氣を遺傳した一人息子は一夜の中に苦悶して逝き、女が必生の事業なる孤兒院は燒滅し、悲慘なる最後に終るのである。なは『鴨』では虛僞の結婚を眞實の上に築直さんとして起る悲劇を見せてゐるのである。

要するにイブセンは徹底した眞實の上へ築いた結婚でなくては眞の幸福とはいはれない。虛僞を包む結婚は人生の最大不幸である。譬ひ離婚の悲嘆を味うても虛僞はこれを除去しなくてはならぬ。虛僞の結婚を續けて行く結果から來る悲劇は最初に離婚する苦痛よりも更に更に殘酷だと信じてゐた。

（二）

イブセンが離婚の義務を力說した反動として、近代

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

劇の傾向は一變化を來たした。過去十年間に於ける眞摯なる劇作者の思潮は離婚反對に傾いて居る。彼等は言ふ『離婚そのものに就いては左程研究する必要はない。尤も目先が新らしいので觀客を喜ばせるには効果はあるだらうが、それよりも男女互に忍んで圓滿な結果を見る方が觀客の爲となる。またよし離婚を是認するとしてもそれは全く最後の手段でなくてはならぬ男女は互にその罪を寛恕する雅量がなくてはならぬ。離婚後は什んな悲痛な生活を送ると思ふ？什んな恐怖が迫ると思ふ？』これは正にイプセンが最後までも主張して停むことも知らなかつた底徹的個人主義の反動である。

大陸の Capus や Bahr や英國の Pinero などは離婚の恐を輕易に取扱ひ、單に子供の幸福の爲に夫婦は喧嘩をしたり別れたりなどしてならないと言ひ、Brieux と Hervieu とは些末な罪は飽くまで忍び、未知の男から男へ移行く不安を逃れよと敎へ。Strindberg は離婚に伴ふ戰慄すべき結果を切言し、Hervieu は更に夫を後にして他の男と結婚し、悲慘なる經驗をへて再び舊の夫の胸に抱かれる女の運命を畫てゐる。Paul Bourget は Hervieu の劇から暗示を得て、離婚者と無宗敎者との悲劇をものしてゐる。

以上は近代劇に現はれた離婚問題の大握を列擧したに過ぎないが、以下今少し詳細く述べて見やう。

（三）

離婚は不必要であると主張して、結婚上の不貞を容易に海容する側の態度を見るに、その屈竟の例證は Alfred Capus の『二色』"Les deux Ecoles" で、劇中の女主人公H…が夫の些末な不身持を探知して自ら離婚せんとするとき、その母は言ふ。

『女といふものは欺されはしないかなぞと男のことを疑つてなりません！妾たちはそんな食言者の男などよりもずつと卓越れてゐるのですから、そんな者の言ふことを一ち〱氣にしてはなりません。そんな男は可愛がりもせず、疑りもせず、莫迦にして何も詳細しいことを聞かないやうにしてゐるものですよ。』H…の良

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人E…は心からH…を愛してはゐるが、女といふ女は悉く信頼にならないと思つてゐる男で、Hと別れて後は新生涯に入り自己の運命を開拓せんと決心はしたものゝH…に對するやるかた無き未練の情に苦しむ。H…は品行方正なる議員に再婚せんと話も大方捗取つた頃、偶然にH…とEとはとある珈琲店で落合ひ、燒棒杭に火が付いて、H…は舊の夫E…に言ふ『―ね、さうじやなくつて？お別れしたつて何も白い眼をして睨くらをする必要は無いぢやありませんか？敵といふ譯ぢやないんですからね―只眞の荷に汽車の内で心易くなつた見知らぬ人と別れの握手交はすときでさへ何とはなしに眷しいやうな儚いやうな心地がするではありませんか……まして身も心も一つとなつて永い間一處に暮した夫婦ですもの、別れてあとは什んなでしやう？――』E…も同じく睦まじかつた昔を偲び、伴立つてH…の家に行き、撚りは全く戻り、H…は議員との話を破談すると、議員はE…の妹に慕はれてゐたので、これと夫婦になる。そして言ふ『男は女から賞められてゐるよりも愛されてゐる方が仕合せだからね。』H…は議員のこの言葉を自然の境遇に思合せて笑ひながら言ふ『世の中の男は皆同じ物で別に變つた所もないのに、何故女は種々と男を代へるのだらう？(夫に向ひ)妾も母さまのやうになりましやう。既う何も貴郎のことを探らうとはしますまい。貴郎が妾を欺すときは只既う言つて下さるなとだけ申しましやう。』母は娘が世の中を知つて來たことをひどく悦び『一體亭主といふものを大別すると二色になるよ。第一種はだらしがない代りにまちがひも無い男。第二種類ははでな代りにあてにならない男。で、何の種類に屬する亭主もお前を充分幸福にはして呉れないがね。それだというて、一人の女が他の多くの女よりも幸福でゐるなんてことは大變な罪なことだよ。』

Bahrの喜劇『合奏』(Das Konzert)では妻たるものは離婚なぞとは思つてさへもならぬことを諷刺してゐる一人の天才的青年音樂家を年上の妻は子供の樣に可愛がつてゐる内に、夫の樣子が怪しくなつて來たけれど

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も、その內舊に復るだらうと待つてゐると、事件は愈愈錯綜して來る許りなので、此際一部だけ斷乎たる處置に出る樣に見せ掛けて、夫を取返し一層愉快な家庭を作らうとすると、良人は合奏に事寄て情婦と遁げて了つた。そこで情婦の良人と音樂家の妻とは妥協して一處になつた樣に見掛ける。これを見た音樂家は舊の妻の美點を今の情婦の欠點に比べ、再び妻の抱擁に歸るといふ筋。この作者は妻の些細な氣轉や手加減や寛大で、離婚などは充分避けられるものだと主張してゐる。

更に眞摯に離婚問題が Pinero の『疑の賜』(The Benefit of the Doubt)によつて呈出されてゐる。そしてこの作者は前二作者の樣に童貞に付ての寛大が擴大されてはならぬと考へてゐる、卽ち良人T…がA…といふ女と單に戯れてゐるのを妻が疑ひ離緣を要求する。怒れる良人は妻を離婚し、社會に向つてその名譽を奪つて了ふ。程經て再び仲直りをした時に良人T…はA…女とは全く醜關係の無きことを證明するためにA…女との會話を隱れて立聞くことを妻に許す。これで良人のことは雲が晴れたが、絕望したA…女は思ひも寄らずT…と駈落しやうと申出す。これを椽下で立聞く妻は矢庭に室內に闖入する。A…女は氣絕する。こゝに再びT…はA…女を捨てかね、A…女はT…の妻の探偵の如き行爲を罵り、T…も何故今少し早く入り來ざりしかを妻に責め、形勢大いに暗澹たるものがあつたが、遂に舊の夫婦は一つになり、A…女は叔母のもとへ去つた。

この戯曲は高義の道德律の上に置かれてあつて、その雰圍氣から論じても、動機から觀めても實に世界的の傑作である。卽ち單に疑はしいといふ不充分な論據からして離婚せんとするO夫人の愚は什んな賜を惠んだか？曰くO夫人自身の社會的不名譽。曰く罪なき女をしてその一生を害はしめた事。

次に Brieux の "Suzette" は良人が無暗に嫉妬深く、家族に對する僻見から、妻への反向となり、今日も子供のことから夫婦爭となり、互に毒殺的な鋭い文句の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

爆彈を投合ひ、險惡な狀態は將に破裂せんとする時、妻は子供の一生を暗くするより自滅した方がよいと、母たるの眞情を吐露するに及んで、良人も良人の兩親も心融け藹々たる和氣の漲る家庭の上へ幕は靜かに落ちてくる。劇中の主人公は言ふ。『怨恨はこれを胸に貯へて置くよりも忘れる方が善い。子供は本當の兩親から養はれなくてはならぬ。兩親が爭ふ時はその子供は洵に不幸だ。また夫婦の者が離婚騷ぎで他人の厄介などは實に面白くない事だ！』全く解り過ぎた話だが劇で說明したゝけに新らしい力がある。

さてStrindbergは數種の戯曲に於て、人間とは男女の兩性が相對立して、永久に『爭の本能』を連けて行く生物に過ぎないと主張してゐる。そしてその本能の强烈なる者は離婚の後までもその鬪爭を續け、單に以前の妻のみならず、その妻の情人をも斃さなくては止まないと言ふ。其實例は彼の『債權者』(Foring sagare)で、離婚して再婚したT…女は二人の良人を二人とも滅ぼして了つた吸血鬼である。第一の良人なる敎師には婬逸な小說で官能の頸手架を施して動けなくして了ひ、第二の良人なる畫家からはその友人も意見も意志も藝術力もあらゆる物を剝奪し去つた。併し第一の良人は第二の良人の平和な心に逆意的な暗示を與へたので、第二の良人は女が自分の手からまた第一の良人の手へ滑戻りはしはせぬかと煩悶する。併し第一の良人は殘忍な微笑の間に、第二の良人に向ひ、女の恥を悉く告知らせる。そして女に向つて言ふ。『お前は私から大切な一際の名譽を盜去つた女だ。俺にはそれを取返す只一の方法を知つてゐる——それは俺がお前から一際の名譽を奪去ることだ——』これを聞いた第二の良人は蹌き倒れ、沫を吹いて癲癇を起す。T…女が跪いて第一の良人G…に許を乞ひ、第二の良人A…が死に頻したときG…は惡魔の樣な滿足げな笑の內に、T…女に向ひ、

『お前はこの男を餘り愛し過ぎた。既う遲い。不憫な奴ぢや——』

Strindberg に言はすれば、女はその男が何時も債權

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

者である樣なのを好むもので、只強い債權者のみが女からその債務を取立てることが出來るのだ。この劇の名は劇中の二人の男の性格を現はしたので、弱き債權者AはT女から單にこの男は途中からでも突離される弱い男と見込まれて仕舞つたことを悲しむに止まつたが、強い債權者Gは自分の幸福をT女が盜んだが故に自分は又T女をAから離してその名譽と幸福を奪ひ去つて、その債務を支拂はせたのである。

この劇は第一の場合も第二の場合も離婚に了つてゐるけれども、これは作者が離婚の利を宣傳したのではなく、寧ろ離婚の結果の悲慘なることを教示したものであることは言ふまでもない。

（四）

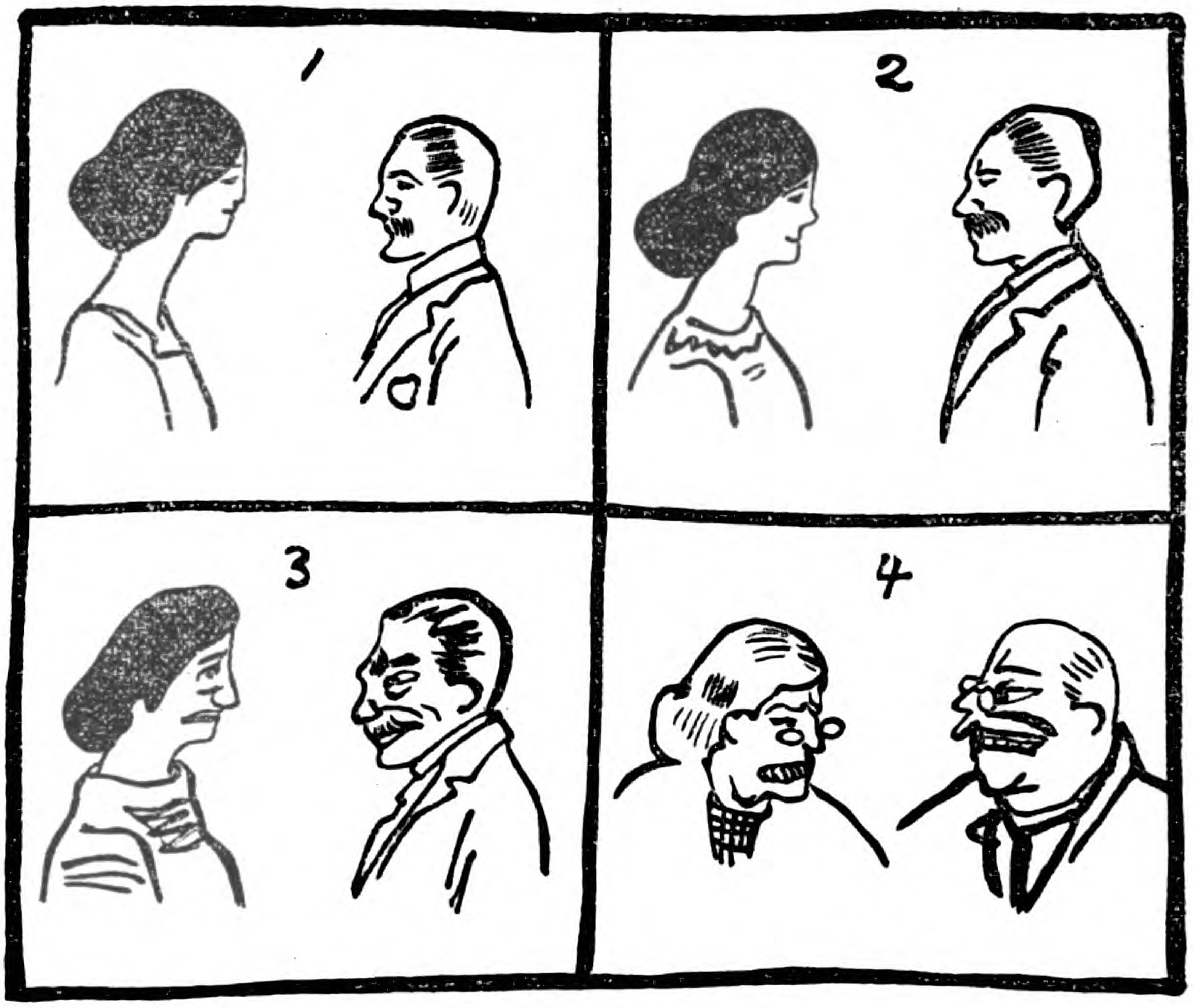
さて以上の諸例を綜合統一して見るに、その原因や結果や理由こそ樣々で一樣でないけれども、要するに『離婚は吾人の生活を害ふものである。』と云ふ處へ落ちてゐる。

イプセンは女子が舊套の鐵鎖に縛められて、無自覺な不徹底なうじ蛆のやうな生涯を送るのを見て、自覺ある獨立せる自由なる女を作らんとして立つたのである。其處に吾々は深く感謝しなくてはならぬものがある。けれども人事世相は複雜で、必ずしも一本調子で押渡ることは出來るものでない。或る場合には離婚を斷行した方が本人將來の幸福ともならう。また或る場合は忍んで現狀を續けて行く方が仕合ともならう。その實際に就て愼重に熟考しなくては、何れとも決定出來ない事である。併し大體に於て夫婦互に寛大であることは是非必要なことだと思ふ。即ち現代の劇の大勢に贊成する者である。

結婚生活中に起る小事件はこれを寛大に許しつゝ、女子の本當の自覺と獨立とのために絕えず努力する。』

これが吾人の理想である。進路である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



（1）結婚當時　（2）二年の後　（3）十年の後　（4）二十年の後

離緣から起つた隱れたる悲劇

立石畝月

私の知人に〇〇君といふ西洋畫家があります。其人の過去半生には離緣から起つた、實に深刻な悲劇が隱されてあります。其物語を或る友人が脚色して、(命)とかいふ小說に書いて居るやうに思ひましたが、事實はそれとは大分內容が違つて居ります。兎に角離緣關係、世態人情話としては最も悲慘な話題であらうと思ひます。

頃は十年一昔と泝上つて、〇〇君が未だ美術學校洋畫科在學當時のことであります。或る機會から、お茶の水女學校通學中の某司法官の令孃と、淺からぬ戀中となつたと思ひなさい。其令孃の父といふ人が非常な天才派排斥論者で、美術家とか文學家とかいふものを大罵倒家で、〇〇君と令孃との關係を薄々知ると、大變な憤激で中々恕すことでなく、終に令孃の外出を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一切禁じてしまひました。
堰かるれば募る例は戀ばかりではなく、見せないものの見たい心は人間としての常癖、令孃とても其通り若い青春の胸に燃えた戀心は、善惡正邪の判決も定めず、男戀しの想ひに前後も顧みずして、遂に家を飛び出してしまひました。後で之を知つた令孃の家庭では不義者に追手は無用だとて、其儘に打捨て置きました。

それから一ケ月程經つと、東京の郊外、田端の高臺にさゝやかなる新家庭が構へられました。是は芽出度美術學校を卒業した〇〇君と、家出した司法官の令孃との圓滿なる、將來の希望多きホームであつたのです。

歲月移つて一二年、二人の間には可愛い女子が擧げられました。又經つて一二年、何うしたことか一時天才として、世に謳はれた〇〇君の藝術は、漸次地に墜ちて其生活にも困難を來たすやうな狀態になりました。それは要するに家庭の波瀾から來たした、思想の散慢から起つた結果で、其家庭の波瀾を引起すべきの原因は、世間知らずの新夫人が處世に宜しきを得なかつた所以であつたのです。

さうなると自覺しない女といふものは淺薄なもので自分の決點は棚へ上げて、唯夫が意久地ないとのみ罵るものですが、〇〇君の妻君も其一人で、虛榮に憧れた胸には、其生活の困難が、男性の責任として常に痛罵する、實に以て恐婦の甚だしいものではありませんか

或冬の一夜、外出中の〇〇君が歸宅して見ると、今年漸く三つになつたばかりの愛女を寢かせたまゝ、妻君の姿が見えませぬ。疑惑の感に撲たれて待つた其夜も翌朝も、正午は過ぎ夕になつても妻君は歸つて參りません。其翌日三日經つても再び其人の影は、田端の〇〇君の家庭には見ることは出來なかつたのです。

〇〇君の悲嘆、憤怒、遣る瀨ない胸の中は云ふまでもないこと……茲が卽ち人情の問題になる處で、人生悲劇の由來であり、新聞三面記事の大活字見題となるべき骨子であります。

過ぎて五日目の後、其妻君は如何にして父に前非を悔い、誤りの罪の許しを乞うたものか、親の家庭にあ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るといふことが知れました。然し其嫁する時が公然でないだけ、此度のやうなことがあつても、〇〇君から抗議を持出すべきの餘地はありません。其痛切に感じた身を切るばかり酷烈な怒り……

又反省すれば不貞の女、虚榮の女を未練らしくも再び想ふことでない……其時の冷やかな悟りの笑み……蹂躙された男性の操…眞の男ならば辛い。然し又決斷の勇あるべきものでありませう。此處を理解された〇〇君の眞情に對し私は多大の同情心を引起します。

憂きこともまだ峠まで達せぬかして、其後〇〇君の愛女は、風邪が原因で病床に日を送るやうになりました。男手ひとつ、續く不遇に涙を振つて看病しましたが、遂に終に其愛女と永久不遇の別離を見るの餘義ない際に臨みました。現今の臨終に愛々禁せざる親の心は如何ばかり——愛女が最後の命——天才は筆を執つて……愛女が最後の命——其筆の跡は、情裏慷慨、懐舊不涙の記念ともなりませう。

最後の命!!

果して其翌秋、上野竹の臺に開かれた、文部省公設美術展覽會に、出品した〇〇君が其愛女の最後の病床を描いた、一小額面の畫題でありました。都下觀覽者の多くあつた中で、此女兒の母たる人も此畫面の前に立つたでせうか？……此小額は優に名譽の等賞を得て現今に其記念多き昔を語つて、〇〇君家庭の畫室を飾つてあります。

〇〇君は其後再度の妻を迎へて、目下圓滿なる家庭に暮して居ります。

斯くて其不貞の女は、現今或る司法官に嫁いで居りますが、金錢と生活以外、人間最善の人情が味はれつつあるや否哉？私は其（最後の命）たる記念物から起る、彼の女の感慨を摸寫したいものだと思うて居ります。其血液の微細な鼓動を……

昨夕の散歩を不圖道灌山に〇〇君と出會うた時、離緣問題研究の意を話すと、圖らずも〇〇君自身に經驗し味ひ得た、離婚の隱れたる悲劇を茲に記して、特に話された〇〇君の厚情に感謝します。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

史劇『月影』に就て

藤生貞子

こんな體裁で失禮ですけども、床の上でもよろしければと、例の快活なお聲に導かれて座敷に通された。藤生さんは毎日の舞臺監督でスッカリ肩をこらして了つた、按摩を取らして居らつしやる、お見舞に須藤代議士夫人が來てゐられた。

『かうしてゐてもお話は出來ますよ』と仰つて『帝劇の舞踏が綺麗で〳〵、西洋劇が本當に華やかだからお母さんに見せたい、私のは悲劇だからシンとして水をうつた樣、けれど紅葉狩の場は綺麗、大名や小姓やお姫さん女中と大勢出て來るわ〳〵一世一代なんですもの是非見て下さい、お母さんに見て頂だかなくちやね『須藤さんは十五年來、私のお袋代りになつてお世話して下さるのです』と紹介された、私は『どんなにかお滿足でゐらつしやるでしやう』とお喜びを申上ると。

『いゝえ、處が友達や知人は大騒ぎをして呉れまして同窓の友で十數年來音信の絶えてゐた人も、今度の成功を祝すとか祈るとか云つてわざ〳〵手紙を下さつたり、尋ねて來られたりしますし、日頃親しい友からは明日が心配で御飯が食べられないの、どんなにうれしいの、氣をもんでゐるだらうのと云つてくれますが、肝心の御當人は平氣の平左で試食會や友人の家に呑氣に遊んで歩いてゐるのです、それと云ふも私は自分さへ滿足してあゝ面白いとおもはれゝば世界中の人が惡いと云つても、一向平氣です、世評などはとんとおかまいないからです、例令世界中の人から讃められても自分に氣に入らなければふさぎます、一體私は朝日に出た『友』でも『主義の女』でも今度ので新聞に出さうの、舞臺に上せて社會からヤンヤとはやされやう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とか、少しも思はない、何でも自己の興味中心、自己満足さへ得られゝばそれでいゝんですから。

『それは誰れでもでしやう、その自分に満足されるほどのものが出來ればどんなにうれしいでしやう』と云ふと。

『うれしくもなんともない』例のさも〳〵無頓着氣に仰しやるが、でも包みきれぬおうれしさはお顔にも現はれてゐる。

今度の劇をかいた動機は昨年の暮れに大勢集まつた時『婦人の道を武士道では』と云ふ話題が出たので、後からふとそれを書いて見たいと思つたのです、そして私が筋をこしらへて、私の英語の弟子で最も囑望してゐる木内貞子と云ふ人に書かせて幾度も〳〵訂正し舞臺に上るまでに都合五度なほしました、今度の『月影』は二十五年前に私が英文で書いた『山櫻』と云ふのをスッカリ日本式に書きかへたのです、西洋と日本と、男と女とも凡て反對で筋道もちがひますけれど、山櫻は日本の武士道を西洋に紹介しやうと思つて書いたので、日本で英語小説を書いたのは私が山櫻を書いたのが一番最初の試みです。是れ迄は英譯して居ましたけれど、これからはあちらのものを和譯して默阿彌式に書き變へて見やうと思つてゐます。チヨボまで入れて、それには義太夫など稽古してゐるのも大に助かります、私は一體學歴から云ふと尤も新しいものを學び、ドン〳〵新らしく進んで行くのが好きですが、感情から云ふと極く舊い武士道的道徳が好きなのです、今度の劇では如何にして、武士道的婦人の精神をあらはさうかと云ふ私の精神を見て下さい』

本當に藤生さんは元氣のいゝ面白い方です私は御招待をうけてゐながら、差支へがあつてやう拜見しなかつたのは殘念でした、又筋書やいろ〳〵伺うた事もあつたのだけれどノートにはさんでおいて、スッカリ一緒に落して了ひましたからこれで失禮します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

タゴールの『献歌』

なかを・せいたらう

一

この私よ！なぜ私の痺れた魂は、しよつちゆう塵の中に平伏した儘、それの可能性の完い自覺に醒めないのか。

看守る無數の星は、夜の蒼冥に眼を睜つてゐる。鳥はここち快く歌ひ、花は森に香を放つ。見よ、如何に月は歡喜にほほ笑むか！然も、然も、なぜお前の寵眷は、私の魂を照らさないのか。なぜ私は淨い愛に輝くお前の面を識らないのか。

私は促られぬ母の愛を受ける。そして親しい者の在る爲めに和ぐ家庭の福を享ける。お前はさまざまの形で始終私に近づく。それに尙ほ私の魂は、なぜお前を離れて迷ひ出したいのか。

二

私は時時ちよつとの間、お前を見るが、なぜ續けてお前を見ることが出來ないのか。なぜ情熱の雲や懶い心の願が、お前の淨い面をまるで暗くするのか。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私がお前のすばやい瞥見を捉へる時に、私は再びお前を失やしないかとはらはらする。しかし、言ふもをかしいが、お前は電のやうに現はれて、私をすつかり煩悶させて過ぎる。

愛しい者よ。どうすれば私の眼の前に、いつまでもお前を留めることが出來るか、それを私に話して呉れまいか。私には衷にお前を容れる丈の愛があるんだから。

若しお前がさうして呉れるなら、私はお前の有り難い心に對して、何物をも捧げるであらう。

三

私はお前を私の生存の北斗とする。私はもう二度と人生の航海に、私の行くべき路を失はないであらう。

私の行く處には、常にお前がゐて、私の周にお前の恩惠を雨らして呉れよう。お前の面は、いつでも私の『心の眼』の前に在る。若し私が少しの間でも、お前の姿を見失ふものなら、私は殆ど私の心を失ふのだ。

私の情が迷ひ出る時に、お前のちやつと見る一目は、私の情を自分に振り返つて羞かしがらせる。私はお前を私の生存の北斗とする。私はもう二度と人生の航海に、私の行くべき路を失はないであらう。

譯者の註――歌の中の「お前」は、明らかに「梵」でなくちやなりますまい。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

兒童教養相談所に就て

ドクトル　三田谷　啓

異常兒と名づけるものの中には智惠の足りない小供や、性格の違つた小供が含まれて居る。日本には統計がないから確かなことは云へないが、獨逸や其他諸國の統計を總括して見ると智惠の足りない兒童は學齡兒童百人中に一乃至二人はあることを示して居る。日本の當局者に聞いて見ると日本にも此位は確かにあると云ふことである。して見ると日本の學齡兒童中には智慧の足らぬものが總計十數萬人もあるワケである然かるにソレに對する設備は何んにもない。異常兒を普通の小供と一緒に敎育するのは、たゞに異常兒の利益でないのみならず、又周圍の小供が惡い影響を受ける恐れがある。今日、日本に異常兒敎育の設備がない爲めに、ソレがドレ丈け不良少年産出の原因となつて、社會が如何程大害を蒙むれるか知れない。

獨逸には特別敎育法があつて、國家と個人とが力を合せて、異常兒を敎育し保護する爲めに澤山特別の學校を設立してある。私はかねて、コウ云ふことに興味を持て居たので、獨逸遊學中、努めてソンナ設備を視察しました。此種の事業は敎育の外に醫學の力を藉らなければなりませぬ。私は幸に醫學を修めたものですから異常兒敎育を學ぶに好都合でした。ソレで歸朝後日本に斯種の設備が一もないのを見て、之れは日本社會の一大缺陷であると考へ、微力をも顧みず、其の事業の第一着手として兒童敎養相談所を設立したのです、今の所、我が兒童敎養相談所は、異常兒と然からざるとを問はず、其の敎育及び養護の方針、職業上の選擇、其他實際上の要項に就て相談に應じて居るが、行く／＼は異常兒童を收容して、醫學と敎育の立場か

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ら適當な所置をして行きたいと思うて居る。

一體斯かる仕事は國家が爲すべきであるが、今日の日本は普通敎育すら充分でないのだから、とても俄かに異常兒童に對する適當の所置は出來ない。そこで異常兒童をよく診査してこれに適當なる敎育方針を指示し、職業の選擇のことも相談するやうにすれば兒童の爲めにはどんなに幸福かわからない。この趣旨に本づきて兒童敎養相談所を設立するに至つたのである。さて異常兒童の中で智慧の足りないものは、程度が强ければ一見して分るが、此の小供の智力は何年位、同年輩の普通兒童より後れて居るか、進んで居るかを測定するには、ビネー、シモン法によると都合が好い。

此のビネー、シモン法は年に應じて智慧の試驗をする樣に出來て居る。ビネー、シモンの兩氏が此の方法を發見する以前、色々な醫者や心理學者が智力試驗法を發明したが、ソレは何れもビネー、シモン法の樣に完全なものではなかつた。今や此のビネー、シモン法は佛蘭西から出て、獨逸をはじめ歐洲各國で盛んに行はれて居る。私は日本の事情を斟酌して聊か之れに改良を加へて公にすることにした(學齡兒童智力檢査法。學齡兒童智力檢査函)が、既に之れを使用した人もあつて、報告も一二來て居る、幸に大分、各方面から申込で來て此の方法の試驗をして居らるゝ樣であるからダン〳〵實驗的報告を集めて、もつと完全なものにすることが出來たらば其法の恩澤は大なるものと思つて居る。

智慧と性格とは別のもので智慧は進んで居ても性格の異常な兒童がある。ソレで性格は又別に試驗せねばならぬ。性格の方は、一寸容易ではないが、熟練したものには、凡その事が直ちに分る。而して例へば此の小供は陰氣であると分れば、陽氣になる樣に、樣々と敎育する。そしてなる丈け惡い性格を改善して行くのである。要するに醫學と敎育とを結び付けねばならぬと云ふのが、私の主張する所であつて、之れは異常兒童敎育の上に必要なことであるばかりでなく、又實に普通兒童の敎育にも必要なことであると考へる。片目の見えぬ小供をソレを知らずに敎育して居たと云ふような滑稽、否悲慘事もありますからね。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

短歌

與謝野晶子撰

吉田壽子

みおくりぬ涼しきかせにつゝまれて
遠ざかり行く初夏人を

島の人

自らを又なきものに卑みて
祈る牧師の哀れなるかな

此頃のわが悲しみは町中に
かのおとなしき馬を見ること

西洋のものゝ本にて見る如く
二階に住めりひとり身なれば

片桐くみ子

手術後の魔睡の醒めし殺那にも
なほなげきつれいにしへのこと

河村明子

白鳥よわが歌持ちて遠に去れ
海の彼所に泣く子もあらむ

桃割れ女

うらさびし君を思へることにより
そらぞらしかるいつはり云へば

むらさき

人の子は宿世をこばむ力なし
まして疲れて力なきわれ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『女子が參政權を得なば』（梗概）

James Barr 原作

白星 抄譯

英國の首相ジヨセフ、グランネツト閣下が議會に於て、婦人參政權反對演說を爲した。その日サツフラゼツトの婦人等の大々的示威運動が起つたのである。婦人等はヒステリ症の絕頂に達してあざける、叫ぶ怒鳴る、笑ふ、喋る。喧々囂々、『女子に投票權』と叫んではドツとばかりに鬨の聲を上げる。彼處には若い女が頑丈な鎖で自ら瓦斯燈の柱に軀を縛りつける、鍵なしの錠で樞へしつかり手枷をされてゐる。此處には牛の首の樣な巡査の短い襟上にかぢりついてゐる。或は騎馬巡査の肥馬の脚下へわざともぐり込んで鐵蹄にかけられやうとしてゐる。或は手當り次第男子と見ると片端から撲り廻つてゐる、そんな女等は髮はこんぐらがる、眼はひッ釣る、着ものは裂かれた半狂亂の體で口に叫んでいふ、『女子の投票權―』

亂暴狼藉至らざるなしである。殊にグランネツト首相の一人娘のローナ孃までが、婦人組であばれ廻るのだから手がつけられ無かつた。

翌日の新聞は首相の演說筆記錄で五段を潰し、婦人連の騷擾事件で一頁を費した。サツフラゼツトの名前は最小文字で組まれたが、それでも新聞紙の二段を埋いでしまつた。Aarona から Zoe まで有りとあらゆる女名前がベタに羅列された。

グランネツト首相は演說を終つて、總理大臣官舍へ引取つて見るとびつくりした。自分の室の窓ガラスは滅茶々々に壞されてゐる。室內の卓子もデスクも花瓶も何も彼も火事の燒跡の如く取りちらかされてある。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

能く聞いて見るとこれはまた二度びつくりせざるを得ぬ。可愛い娘のローナ嬢がサッフレーヂ熱に感染してゐたのだつた、そこら中盲滅法ブチ壊しをやつたのは誰でもないローナ嬢の仕業だとわかつて、親爺さんグーの音も出ない。

それから種々のイキサツがあつて、到頭グランネット首相は一大決心をなした。決心とは何ぞや。婦人に投票權を與へやうといふのである、その方が婦人の爲めに良からうといふのである。そして、婦人直接行動會の會長スザン スコット女史に會見を申込んだ。

ジョセフ グランネット首相が、スザン スコット女史に會見を申込んだといふ一事は、それが世間に知れ渡つた時に、婦人社會に甚しき騷擾が又ぞろ起つた。多くの元氣旺盛な婦人主義者の首領連は、交も議會の威嚴と儀式を愍しにかかつた。

それはさておき、婦人直接行動會の會長スザン女史は、今回の事件を非常に重大に嚴格に解釋したやうだ。女史はこの會見が婦人參政權運動の一新紀元をつくるもので、長い勇ましい戰爭のこれが終結であると取つた。この會合は恰もウエリントンがブルッヘルと握手した當時の事を、目のあたり見る氣になつてゐた併しグランネット首相は全くそれとは反對で、日常の茶飯事、一日の一寸した仕事といふ風に輕く取扱つたのである。

* * *

首相はスザン女史が椅子に着くや否や、斯う言つた

『スザンさん、あなたにお目にかかる事ができまして私は欣ばしく存じまする』

スザン女史も會釋して

『やつとの事、お目にかかる事が出來まして、私も誠に欣ばしく存じます。』

『スザンさん、私があなたに遇ふといふ事が遲なつたのをあなたはよもや。お咎めにはなりますまい。』

『決して早いとも存じませぬ、私はずつと以前から、ベルでお呼びになればお目にかかることが出來る處まで參つて居りました。』

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「けれどもね、不在なら已むを得んでせう。私は不在勝ですからな。」

首相は猶も言葉を継いで、

「私はあなた方が政治的戰爭に於て、良く計畫し良く奮鬪された事を賞讃致します。我國の政治史にこんな巧妙な元氣ある作戰の事實を見るのは痛快ですわい。私は豫々あなたにお目にかかりたいと希望はして居つた。けれどもです。我々當局者の行動は少なからず束縛されて居るといふことを御承知願ひたい。我々は國民の先頭に立つて動き廻ることは制限されてゐます。國民から命令を受けるまで待たにやならんですよ。だから何か一事件について主張を有する人は、先以て國民を動かし、輿論を喚起して、全國民から我々に命令するやうに取計らはなければなりませぬ。國民の委任に依つて我々は初めて動くのです。けれどスザンさん私が斯う申したからとて、あなた方の行動が全國民の希望に反して居ると言ふのではありませんぞ。あなたがよしや私のところへ近づき、この卓上のベルに觸る程近くお出でになつても、あなた方が當局者に對し國民の命令を持つて來られん以上は、私はあなたに御面會は出來なんだのです。そりやァお目にかかりたいのは山々ですが、さうもならんですからなア。」

「わかりました、そして閣下は、私が唯今命令を持つてまゐつた事を御存知で被居いませう。」

「フム、成程一種の命令でもありませう。マアそれはそれとしてぢや。あなたは政治家としてどんな經驗を有たれるかは知りませんが、善良なる政治家は如何なる實質を必要とするか、その事をこれから學ばんとして居るのです。スザンさん、私は今將に帝國の婦人に投票權を與へやうと思つて居るのですが、私は永久的にそれが婦人の爲めにも、帝國の爲めにも良事だとは信じませぬ。それであなたは如何お考へですか、大帝國の安寧と幸福とを双肩に荷ふ男子がですねえ、曾つて得たる幾多の善良なる忠告を無視し、彼自身が細心に考へたる確信に反對して、帝國の存在を危くする樣な危險を冒さんとしてゐるのを、帝國々民としてあな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たは何とお考へですか。』

『私はそんな事をクヨクヨ考へるのは御免でございます。閣下がどんな確信を有たれやうが有たれまいが、私は一向無頓着です。今日私がここに參つたのは、閣下の確信や御述懷をうかがひに來たのではございません。』

首相は女史の無禮をちつとも憤る風はなく、徐かに語つた。

『あなたの態度はお立派ぢや。人民の信任を得るに適當ぢや。併し私自身に取つてはニガ〳〵しいのでありますよ。實のところ、私は何等必要もないのに、大帝國を賭物にして婦人諸君に投票權を附與する考へはないのですからなア。そんな事を致しますれば、全責任は私が負はねばならんのです。忌憚なく申せば、婦人には畢竟投票權を得る資格はないのですからね。』

スザン女史はムッとして眉をピクリと昂げた。首相はそれを抑へて、

『マアマア、實際のところはさうだと言つたまでゞす元來投票なるものは法律を作らんが爲めに行はれるので、而して法律はこれを實施するが爲めに作られるのです、もし施行しない法律なら最初から作る必要は無いでせう。ですから、投票をする人、又は法律を制定する人は、これを實施する事を豫め準備しなければならぬ。婦人は果して法律實施の準備ありや、そこが問題だ。婦人は自分の投票でもつて戰爭を始める事は出來ます、併し自分が戰場に出て突貫する事はどうでせう。』

『さう仰有いますがね、男子といふ男子は悉く戰爭が出來るとは限りますまい。中には女より柔弱なものもございます。女だとて、戰爭にまゐれますよ、我々に相當な看護婦となつて……』

『イヤお待ちなさい。戰爭に於ては特に申上げる一事がある。卽ち戰線であります。戰線に立つ事は、非常なる行爲に依る法律の實施である。婦人方は戰線に出るやう召集されて、萬が一人もそれに加はるものはありますまい。戰線はいつでも男子で組織されます、永

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□内容見本□

桂月先生の序に

（前略）謹んで世の修養に志ある人々に告ぐ。一時に修養上の知識を貪らむとする勿れ。日に少しづゝ自得して實行せよ。更に此書を繙く人々に告ぐ。日々其日の條のみを讀め。而も熟讀せよ。解らぬなら、解る迄熟考せよ。昨日以前讀み終りたる所を回顧するは好し。決して翌日以後の條を見るべからず。如何に多忙なりとも、其日の條を讀まざるべからず。かくて一日又一日、一月又一月、一年の後に至りて、一年前と比較して見よ。必ずや諸君は呉下の舊阿蒙にあらざらむ。

大町桂月先生監輯

修養日訓

（三百六十五日訓）

四六版三百八十餘頁
總布製箱入美本
定價壹圓廿錢　口郵税八錢
四千部限特價壹圓

東京市神田區佐久間町四ノ廿三

植竹書院

振替東京一二九五三
電話下谷三四一九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一月十六日

言語

■言費せば身賤しく(多言を發せば、その人の身振り、態度が輕々しく見ゆるをいふ。)、身賤しければ道輕し(從つてその人の說く所の道までが、輕んぜらるゝ。)。道輕ければ敎廢る(其敎旣に輕ぜらるゝが故に、その敎の行はるゝ道理もない)。

「徐幹、中論」

■輕言戲謔(輕卒に物をいひ、いつも不眞面目な、ざれ口をたゝくこと)、最も事に害あり。蓋し言妄に發せざれば、言出でゝ人之を信ず。苟くも輕言戲謔すれば、後、誠實の言有りと雖も、人亦之を信ぜず。「薛子道論」

■言語辯聽の說(口頭で論議すること、)にして、道に度らざる者(事の大體に通じないで、部分的の事に拘泥し、中心の問題に觸れないもの)、之を膠言(膠で着けたやうに、動きのきかない、應用の出來ぬ言葉)と謂ふ。「李克、李克書」

■君子言を以て人を擧げず(辨舌だけ達者で、技倆伴はず、誠實のない人もあるからである。)。人を以て言を廢せず(身分は賤いでも、立派に道理に叶つたことをいふ人もあるからである。)。「論語」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

平靜

■心未だ嘗て動かずんばあらず。然り而して所謂靜なり。夢劇(世間の俗事)を以て知を亂らざる、之を靜と謂ふ。「荀子」

■靜後萬物を見れば、皆春意(平和な氣分)あり。「程伊川」

■人を治むるを知る者は、其思慮靜、天に事ふるを知る者は、其孔竅(心胸)虛。「韓非子」

■嗚呼人心は方寸(心は心臟にあるものとせる故方寸と云ふので、小なる處にあるを云ふのである。)事務は千緒、(やる事は多い)案牘(驗案)前に堆かく、發言底に充つ、何を以て之に當らん。唯だ靜寛あり。寛以て物を容れ、靜以て微を察す。「柴野栗山」

■靜能く動を制す、沈能く浮を制す。「井上金峨」

■大人とは強剛の決斷を以て善を撰び、嚴格に内外の誘惑を拒絶し、最も重き責を悅んで負ひ、困厄に遇うて平靜なるもの是なり。「セネカ」

五樂

圖 君子に五樂あり。而して富貴は焉れに與らず。（富貴は此の五樂の一つではない、即ち富貴といふのは眞の樂ではない。）一門禮義を知り、骨肉（父母、兄弟等血縁の者を指す）釁隙（仲の惡しきこと）無きは一の樂なり。取予（取つたりやつたり）苟もせずして、廉潔自ら養ひ、內は妻孥（妻子）に愧ぢず、外は衆民に怍ぢざるは二の樂なり。聖學（聖人の學問）を講明し、心に大道を識り、時に隨ひ義に安んじ、（時勢が代はつても、常に義の守つて變らない。）險に處して夷なるが如きは、（危險の境遇に在つても、平夷の處に居るやうに虛心平氣に暮して行くといふのは）三の樂なり。西人（西洋人）理窟を啓ける（科學や器械等の發達してなることをいふ。）の後に生まれ、而して古聖賢も未だ嘗て識らざるの理を知るは、四の樂なり。東洋の道德、西洋の藝術、（學術技藝）精粗遺さず、表裏兼該（表裏共に研究すること）し、因て以て民物を澤し、國恩に報ゆるは五の樂なり。「佐久間象山」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

壹錢壹厘も要せず知らず〳〵お奧樣方の貯金方法

洗濯石鹼半額會

第い號 御使用會員五百軒限り募集

◉各御家庭にて毎月普通洗濯石鹼の御使用金額を凡そ御一報あれば其半額にて引受け配達致し置きます

◉初めての申込の會員にも決して前金には申受け致しません品物引換に御渡し願ます

◉會員の御家庭には品物を預け置き月末に御使用分丈け普通の洗濯石鹼御買入に對照する半額金御支拂願升

一、會員は假りに金壹圓分普通石鹼を使用したとすれば金五拾錢にて差引金五拾錢は會員の御利益になります

二、主催は會員を信賴したるものなれば道德を重じ公平に普通棒石鹼を買入使用したる半額分を御支拂願ます

◉はがきにて御申込あれば直ちに店員見本を持參し御試用の後御相談御安心の上會員に御加入願ます

◉會員は普通洗濯石鹼壹圓分の原料を五拾錢にて買受ると同じです

◉會員は一般家庭に直接御使用者に限ります

但し其內にも公平を保つため敎育家司法官警察官醫士新聞雜誌記者銀行會社員諸官吏海陸軍將校樣方丼に實業家の御家庭の使用を希望致します

◉御使用の會員は道德を重んじ御費用の損益を公平に御通知願ます

◉地方御使用會員は實費送料は申受ます

注意 半額の原因

◉普通洗濯石鹼を直接御使用者が御買入れになる迄には製造元にて二割問屋にて一割小賣店にて二割の利益を見るとするも五割を直接御客樣は高直の品を買入て御使用になるものであります

◉然るに太陽印洗濯コナ石鹼は製造に費用少なく且つ製造販賣共に本舖が直營なれば粗惡品や不利益なる品は決して會員に差上げる心配なければ御安心の上御使用會員に申込願ます

◉今同募集の洗濯石鹼半額會は一般家庭使用者に太陽コナ石鹼の德用なるを廣告する目的の爲本舖主催でありますから滿員にならざる內に御申込願ます

主催 太陽コナ石鹼本舖

赤坂區青山北町二丁目六番地

申込所 合資會社 柳屋商會內

洗濯石鹼半額會

電話 芝二八八四番

振替東京五二二七四番

太陽コナ石鹼之使用法

●本品は氷匙一杯に湯又は水一升の割合に溶解しなるべく衣服一枚づつ入れて御洗ひになれば石鹼は少量にて何枚でも泡の立つ間は洗へます

太陽コナ石鹼之特色

◎普通「シヤボン」の半額なり

◎惡臭なく使用に便なり

◎洗濯用として實用的なり

◎普通「シヤボン」の如く洗濯物に斑點を殘す事なし

◎品質を損せず手荒ず

◎消毒を兼備し衞生に適す

◎白衣油衣に特効あり

◎食器を洗ふに便なり

◎如何程汚れ居る衣類も過度の分量を要せず

◎一度使用せし水も泡の立つ內は効力あり

◎使用後の殘り水は便所の消毒に効あり

太陽コナ石鹼
太陽髮洗粉

發賣本舖

赤坂區青山北町二丁目六番地

合資會社 柳屋商會

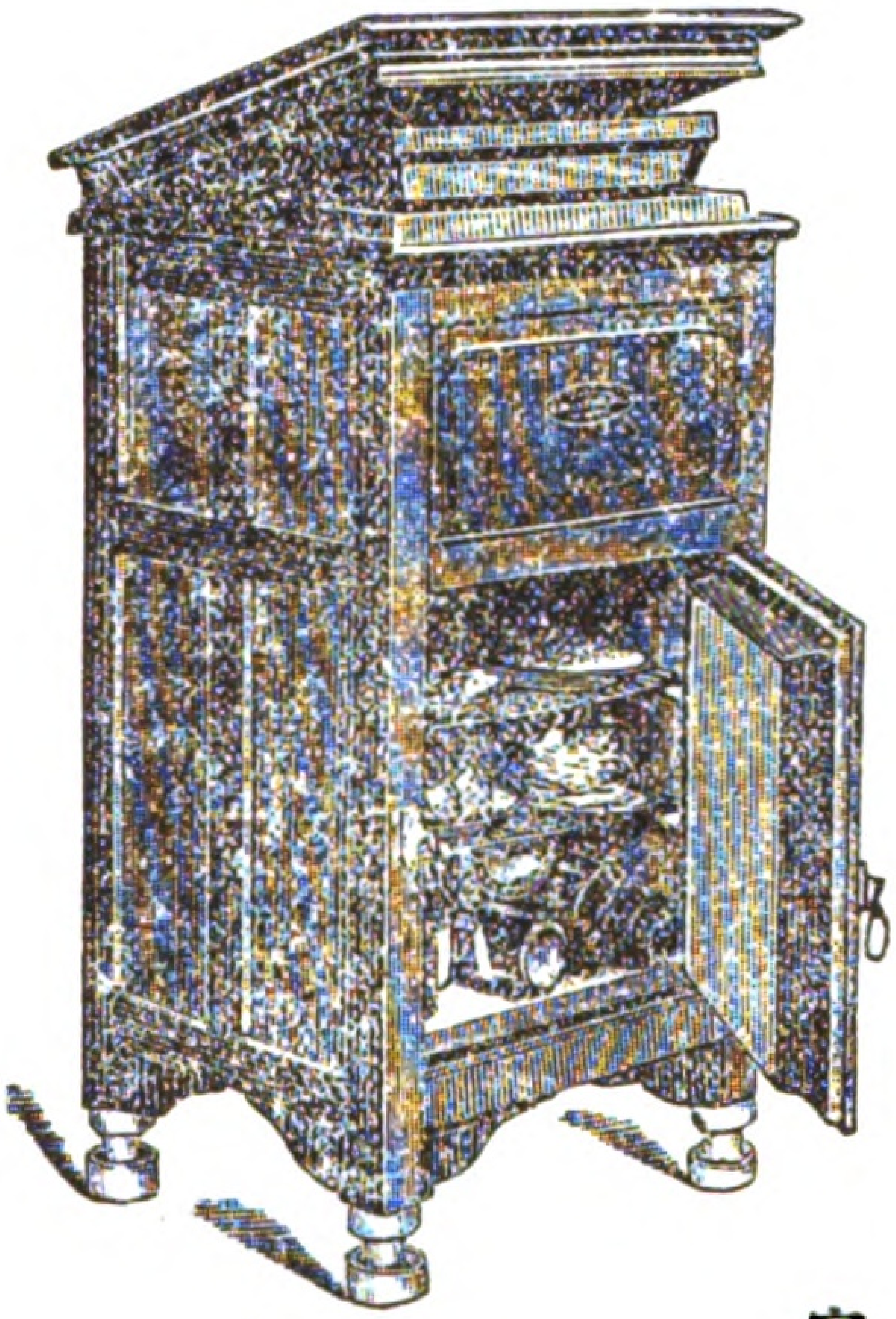
電話 芝二八八四番

振替東京五二二七四番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新案特許

載氷臺換氣通風器
排水受装置
抽水調整器
完備冷藏函



家庭用

一號形 参拾圓より（高 三尺六寸 巾 一尺八寸 奥行 一尺六寸）

二號形 貳拾参圓より（高 二尺八寸 巾 一尺六寸 奥行 一尺二寸）

三號形 拾五圓より（高 二尺五寸 巾 一尺四寸 奥行 一尺二寸）

別形 九圓五拾錢より

特約店募集

御一報次第定價表送呈

本器の特長

●温度著しく降下する故物體より發する水蒸氣は函の中の**タンク**に氷結する故水の**したゝる**ことなし●換氣宜しく温度極めて低ければ香氣ある物を入るゝも他の品に轉附する事なく又香料の發散する事なし ●周圍に優良なる絶縁材料を使用したれば温度極めて低く氷の消耗著しく少なし ●食鹽其他の寒劑を使用し物體を急激即ち極度に冷やす便あり●脚は體裁よき陶器製の蟻除装置なる故に蟻の**はいよる**事なく又土間に置くも下より腐る事なし ●凡て品物を其まゝで此函の中に入れて置けばどんな炎暑の時でも二三日間は少しも變る事はありません ●外部からの塵埃に汚るゝ事なく鼠猫蟻蟲等に侵さるゝ事なく故に悪い細菌も防ぐ事が出來ます ●**ビール、サイダー**麥湯等の清涼飲料水や牛乳などを一時間位入れて置けば忽ち氷の様に冷て今迄の様に氷塊などを入れて味を悪くし小兒さんの腹痛める様な事はありません

東京三田四國町二番地（戸板女學校隣）（電話芝五二一八）

ヱスヱヌ商會

同 芝神明前（電芝二四〇四）

エスエヌ商會販賣部

荒井涙光先生著

道元禪師

曹洞宗の開祖道元禪師遠く宋土に渡りて慕道尋師し深く佛陀所説の核心を探り詳に祖師面授の單的を領す而して歸來喝破すらく「空手還鄕」と空手還鄕の那一曲知らず何等の妙調ぞ佛法の要旨茲に存し禪の眞髓茲に盡く著者今禪師が一代の行狀事蹟を描寫するに流麗にして巧妙なる文辭を以てし禪師の風丰面目をして卷中に躍動せしむ通俗にして文學的なる禪師傳は蓋し此書を以て嚆矢とせむ讀者これに依つて曹洞禪風の淵源を究むべく又これに依つて悟徹の洪範を得べし

總ふり假名
定價一圓
郵税八錢

曹洞大學教授 原田祖岳師著

參禪の階梯

原田老師洞濟二家の宗風を把持し銀山鐵壁容易に攀づべからざる底の禪に姑く階漸を設けて學人のために參禪の一路を示す夫の胡亂に大悟を語りて鬼窟裡の活計を作すが如き野狐精者流は乃ち問はず苟も荊棘林を透過して淸風明月の趣を會得せむと欲する者は須らく秩序整然たる階梯を辿れ

總ふり假名
定價一圓
郵税八錢

東京小石川區原町
貯東京一五六八六
丙午出版社

東京小石川原町
貯東京一三五三
鷄聲堂

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□泉斜汀。原穂村共編

大好評再版

現代名家文集 一人一景

□四六版箱入
□裝幀頗優雅
□總振假名附
□定價金五拾錢
□送料金八錢

夏來る

▽綠蔭に一讀すれば涼味自ら涌き

本書蒐る處の紀行四十幾篇。悉く現代名家の一粒選り丈に一として名文ならぬはない。恰然其の自然か、個々別々に、各々特色あるが如く、文章にも亦特色がある。個性がある。けれども何れを見ても、皆偉大であり、美であり、傑作である事には異りはない。

此意味に於て、此「一人一景」は名家と名文と名山水とを、兼ね備へたるもので、偉大な藝術化せられたる天下の風物、名所古蹟は、此一書に盡くされて居る。

▽旅行に携帶すれば名所案内記となる

發行所

東京市麻布區我善坊町

修養世界社

振替東京二三〇七四番

遠にかくあるべきです。』
『ですが看護婦は必要であります…………』
『イヤお詞を遮ぎつて濟まぬが、看護婦はさのみ必要でありませぬ。看護婦とは何か、事件の緊要なる點に到達した時。法律の執行者によつて取扱はれた無殘の刄の爲めに粉微塵となつた分子の上を吹く人道主義の軟風に過ぎませぬ。看護婦なるものは競爭の世に於ける平和の一分子に過ぎない。彼等は實戰に當つて必要欠くべからざる者では無い。戰場のいかなる場所にも婦人を必要とする所はありませぬ。能くお聞きなさい戰爭の刄は法律の戰端であります。戰爭を度外視することはできませぬ。而して投票は法律を作る爲めである。結局あなた方御婦人は投票權を有する資格が無いといふたのは實戰に參加することのできぬ故もある。』
スザン女史はこれを聞くが否や、身構へをして立たうとした。
『私、誤解してまゐりました。閣下が今仰有つたやうな事は、今しも世間で鎬を削つて論評してゐますので閣下から殊更それをうかゞはうと思つて參上したのではございません、そんな御議論ならば別段改まつてお聞き申したくはないのです。閣下は女に戰爭が出來ないと仰せになりましたね。さう思召してゐられると飛んだお間違ひでございますよ。現に閣下の御同僚、閣下の御部下の人々は婦人との戰爭の苦をしたたか嘗めてゐられます。我々は一齊射撃を以てその人たちを撫斬に致しました。今日お目にかかる事のできたのは、女子の戰爭の結果ではございますまいか、私は閣下といふ總大將の劍を受けにまゐつたのです。』
『よろしい、よろしい。お望みとあらば劍をお受けなさい。』
首相は右手を振つて女史がムキになるのを制した。女史は立ちかけた腰をおろして、ウンと反身になつた
『サア、柄まで通せ！』
首相は微笑して、
『柄までですつて？』
『然うですよ、すつぱり止々目をおさしなさい。』

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『は………、さう力まれんでもよろしい。あなた方の猛烈な御威勢には屈服しましたよ。降参した男子を憫んで。どうぞ本官の申すところをお聞き下さい。實はねえ、スザンさん、私たちが婦人に投票權を與へるのを躊躇するのは先例が無いからですよ。』

先例が無いと仰有るのですか、一體全體あなた方のいふ先例といふのはどんな物ですか？』

『それは申すまでもない、婦人が國事に當る特權をもつた事實がないと申のです。』

スザン女史は傍を向いて冷笑した。

大英國の首相ともいはれるお方の學問は、恐ろしい時代後れなんですねえ　首相閣下、あなたはノルウエといふ國を御存知でゐらせられませう。彼處では婦人に投票權を有たせる事を啻に許すばかりでなく、國會議員になる資格があります。又フヰンランドの事を御承知ですか。彼の國では婦人は男子と對等に政治上の權力をもつてゐるではございませんか。議員を投票し議會の中では男子議員と席を並べてゐます。サアこれで先例が二つですよ。ボヘミアでも婦人は投票權もあれば議員たる資格があります。これで先例が三つになりました。オーストレリアでは政治上均一の權利を男女とも有つてゐます。先例はこれで充分ではございませんか。』（未完）

この篇は婦人問題講演會に於て、譯者が講演中に朗讀せられしものなり。（編輯者）

表紙圖案懸賞募集

先月號にて本誌表紙圖案を募集しましたところ、五六人の方々より寄せられましたが、文意が足らなかつた爲めに特に、七月用としられたものや、其他此方の意と違ふものがあつたので、今一度募集する事にして延しました。本誌はかうした性質のものですから表紙圖案を毎號變改するよりは永續的のものにしたいと思ひます。だから理想的のものを欲しいとかねぐ＼希つて居るのです、どうかいゝものを寄稿して下さい。

○期限は七月十五日迄

○印刷は二度刷の事

○採用せし圖案に對しては謝金五圓を送呈します

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一年位で死んでもいゝ

長田雪枝

私を知つてる人は、誰も私を幸福だと云ふ羨ましひなどと云ふ、外面からはさう見えるのかも知れない、けれど私は決して幸福ではない。

私は風波の絶えない樣な情けない家に産れた家庭の不和な程、厭な事はないといつも思ふ。

六歳になる妹が、すこし悪戯をしたとて、たいへん親父に叱られて、母の實家へ逃げて行つてしまつた事がある。その時、あんまり叱られるから死んだ方がいゝと言つたさうだ。私は涙がこぼれた、可愛さうに、まだ何も知らない無邪氣な心にもうこんな暗い陰がさしたのか。これでどうしてすなほな子になれやう、大きくなればきつと私の樣に、曲つた性質になつて了ふのだ。

草などでも、延び樣〱とする時に上から重い物に壓しつけられると、曲りなりにも横の方へ出て來る。恰度それである。すなほに眞つ直にのび樣としても、上から壓迫され壓迫されて途こんなに性質が曲つて了つたのだ。私は子供らしい樂しい時を通らなかつた。

私が上京したのは十六の年であつた。三年後の今その時の心持ちを考へて見ても、今の自分とそんなに違つて居なかつた樣に思ふ。十五六位ひの子供を見ると自分にあの樣な無邪氣な時代のなかつた事をいつも悲しく思ふ。

冷たい吾家をいとふ心と境遇の壓迫に反抗し樣とする心とが一しよになつて、もうなんでもいゝ、吾が生命の續く限り、世の荒浪と戰つて見樣と云ふやうな子供らしくない熱狂的な心をいだいて、知人も親戚もない東京へ行つたのであつた。けれど私は、間もなくつれ戻されてしまつた。その時の事は今思ひ出しても涙が零れる。それからいつのまにか三年の月日は過つてしまつた。その長い間に私は何をしたらう、何物を得たであらう。顧る度に胸がふさがる樣である。

＊　＊　＊

私には溺れると云ふ事が出來ない。どんな場合にも自分と言ふものから。離れる事が出來ない。私の心はいかなる時も冷靜に醒めてゐる。自分の外にもう一人、完全な自分があつて、その者に心の底まで凝視められて居る樣な、自分の行爲を絶えず監視されて居る樣な氣がする。

自分が何か些細な事でも良心の許さない行をして居る時などは、尙更心が冷靜になつて、嘲笑されたり叱られたりする樣に思ふ。

痛いと感じてもすぐ成程痛いとはこんなものかと思ふ、嬉くてもつらくても、ある程度までしか喜ぶ事も悲しむ事も出來ない樣な心持である。だから私はどんな事にも溺れる事が出來ない。感情の爲に理性を失ふと云ふやうな事は私には決してない。

けれ共私にもたゞ一つ溺れ得るものがある。それは書物である。强ひて云へば、それも全く溺れ得るとは云へないかも知れないが、私が何よりも愛するものは書物である。最も喜ばしい時は、書物をよんで居る時である。しばしば吾を忘れ悲しみも苦しみも忘れて居る事の出來るのは讀書の時のみである。本でさへあればなんでも好む、宗教科學文藝、何でも讀む、私は用事のない日などは、自分の周圍にたくさん書物をつみかさねてぢつと坐つて居る。さうして居る時程幸福を感ずる時はない。

幼ない時から好きであつた。小學校へ行つてる頃にはよく讀書が過ぎると云つて先生に注意された。友人などは私の事を讀書狂と云ふ。

私は道を歩き乍らでも、風呂の火を見ながらでも讀書する。遊びにゆくひまには本を讀むから村のお祭りもよくは知らない程だ。芝居は殆んど見た事がない。買つて讀むだけでは到底自分の讀書慾を滿足させる事は出來ないので、以

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

前町に一軒ある貸本屋の本を、皆讀んでしまつた事がある。

私は不幸な者だけれど、讀書によつてあらゆる樂しみを享受する事が出來るのは、實に幸福だと思つてゐる。

自分はいつもこんな事を思つてゐる。小さな洋風の家を建て、どの室へも皆書物を並べて、何物にも煩はされないで、靜かに讀書して暮す事が出來たら一年位で死んでもいゝと。

日光

近藤なほ子

村の同窓會から秋季遠足の件に付き幹事會を開き度いと云ふ手紙が來た。どうしようかしらと思つて居る中、あい子さんがお出になつて行くと云ひますから一所に行く事にした。日光に一泊することにして有志のみ行く、漸くきまつて事務所を出た時九月十五日は暮れようとして居た。「いらつしやるでせう」、「歸つて聞いて見て」と答へて置いた。

二年間も東京熱に浮かされて居て、今がさかい目にある私は、日光へ等あまり行き度くはなかつたが、一應父に伺つた。若い女がなど仰有たのを幸い、私は「東京へやつて下されば日光へは行き度ありません」と云つた。東京行の事に付いてしつかりした父の返事を此時に聞く事が出來た。併しあの手紙等を如何しようか持つて行けば荷になるし、家へ置くわけには行かず

祭日を利用して手紙で敷紙をはり始めた、何していらつしやるの」、あい子さんが見えた。「日光は如何なさいます」「父が女のくせになど云ふのですもの」。「私はあなたさえいらつしやれば行つてもよいのです、いらつしやいよね」。……

……そつとかくそうとした手紙に目を付けて……

「御見せなさいよ」。ちらしてあるのを數本見られて了つた、驚いた樣子もなく自分の戀まで打明けて滿足の樣子であつた。稻穗の出そろつた田の面吹く風涼しく受けてあい子さんを送つた

「先月の大會の時新らしい女と云つてあなたを聞き尋ねて居た人がありましたよ」。「うそよ、……

……あなたは朝顔の花を送られた事があるでせう」。「どうして知つていらつしやる。字はあまり上手でありませんでした、それで無名でしたわ

「知つてます。其の人數へて上げませうか」。あい子さんは急に打沈んで力ない聲で私はそんな人にあんないたづらをさる、樣なそんなくだらない女なのでせうか」。云はなければよかつたと思つた。「日光へいらつしやいよ私の爲めに行つて下さいよね」と別れる時言はれた。

二三日して又あい子さんが見えた。衣縫ふ座敷の縁側に來て、「東京へ入らつしやる御仕度」私は驚いた「誰に御聞きになりました」、「昨日あなたの御父樣がいらしつたので父が日光へ御スゝめしたら、東京へ行くのだから日光へは行きませんて仰有つたわ」。「東京へ行くのなら私の所へ一日でも半日でも御遊びに來て下さい」ふとおとらさんが來たので話を止めて了つた。

十月村の團體は日光へ行つて來た、私は月末に上京した、半月立つた頃兄から手紙が來た「御身が最もむつみの友、あい子さんは暮れ行く秋に先だちて終ひに云々」とあつた。ゆめかとばかり驚いて數度繰り返した、如何してあい子さんは死んだのでせう、私も一所に死にたかつた其の數日後あい子さんの父は上京なされた「娘は何事も氣まゝにして置いたが「日光へは行きたかつたらしかつた」、それからあなたが上京なさると聞いて直ぐ行つた時何か話したかつたのだそうだが、とらさんが來て話せなかつたと繰り返して言つて居ました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

親友を亡へる友に

文子

長年の友人との間には一朝一夕に知りあつた友人ではとても理解も了解も出來ない、有難い歴史があります。それが一方の死によつて、すべて持つて行かれて了ふ事はどんなに淋しい悲しいことなのでしやう。死と云ふことは、死者其人の悲劇であるばかりではなく、又實に其の凡ての友人知人に大打擊を與へます。死んで行くと云ふ事は自己に對する責任丈けではない、他人に非常な悲しみを殘して行く罪悪だとさへ考へられます。悲しい時には泣きたい丈け泣くのが慰めになります、けれど〱どんなに泣いたからとて泣いても〱、一度消えたものは再び生れて來ない、いづこいかなる時にも最早や逢ふ事も見る事も出來ないかと思ひ至ると悲しさは增すばかりです。これがもし生き別れであつたら、知らぬ間に海にでもおぼれて死んだと云ふのだつたら、又思ひがけず何處かで逢へないとも限らない樣に思はれもしますが、目のあたり見取りして葬りさへすましたと思ふと、其の儚い賴みさへもつ事が出來ないのですものああ悲しいあゝ淋しいと云ふ情がどんなに迫つて來るでしやう。例令喧嘩して絕交してゐても生きてさへゐればと思ふでしやう、御同情に堪へません〱。若し御同情で慰められるものならどんなにでもお慰めしますがいくら御同情しても慰めるに足らぬ事を思ふと私も胸がかき裂かれる樣です。

私は貴女が今同親友に死別したと云ふ事から大きな教訓を得させられました。それは友人知人のありがたさ尊さです。一日は一日丈け。一年は一年丈け切角知り合ひ理解し合つた友はどんな事があつても捨てたくないと云ふ懷かしい溫かい友情が私の胸に涌いて來ました。たとへ友は氣に入らぬ事があつて逃げても〱私としては追つかける丈けの情があつて欲しい、さうなければならぬと心の底から感ずることが出來る樣になりましたことを感謝します。

日記から

桃割れ女

今朝私は頭痛がした、熱が高まつた、つまり病氣なのだ、生物は不可思議なもので病氣といふものがある。

凡そ生とは運命といふ不思議な事を追かけ追かけ世といふ變手古な道をたどりてゆく、そして運命の車が留つた時は命數の定つた時だ死にゆく一步だ、この期間を生といふ、病氣とは蓋し、運命の車を追かけて世をたどる道すがら疲勞を覺えた時そして步調がゆるんで來た時、それだらう、そしてその疲勞に打ち勝つてゆくものは再び運命の車を追かけ得るしかし負けたものは次第々々步調はゆるく途に留まれば命數が定るのだ、こんなことが私の腦の中では廻り燈籠がぐる〱廻るやうに繰り返される。

貧しい私の生活から前途の生を思ふ時、丁度運命の車を追かけつかれた苦しみの中から行方も知らず轉行する事をながめてるやうに、自分が自分でじれつたくなるやうな心持がしてやたらに藻搔いて見たくなる人は多くこうした時には自覺を失ふ、それは病氣の時に限らず苛酷な目に合ふ時の自然の心の步行なのだらう、人は常に自覺が大事だ自覺さへあれば道をあやまらない、かういつて居るがそれも尤もだしかし自覺といふものも多少は自然に備るが大部分は精神の修養によるものと思はれる修養によつて鍛へられる事は益々修養したい。だがこの修養は如何なる場合でも實行され如何なる場合でも適するだらうか、かういふ疑問が私の胸にはすぐ起る考へれば考へるほど矛盾して來る、けれど眞理は一つ道にばかり解することが出來ない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

俗に楯の兩面といふやうに………故に眞理は抽象的立論に於て最もよく表現し理解し得るのであるとすれば今疑惑しつゝある矛盾もなんでもないことだ、かう思ふとまた私の腦はかき亂される

○

私は今日友に逢つた、私はこの人に逢ふとたまらなく嬉しい、何故かそれがわからないけれど嬉はしい、別れてからも永い間この人のことがわたしの頭に繰り返される、忘れてからもまた何かにつけて思ひ出す。私はこの時の氣分を自覺することが出來ない、自覺が出來なければ出來ない程私は此の人に對する心持が無限に尊く偲ばれる、こんな時しみ〴〵心といふ無象の働きの大なのを感ぜしめられる、またこの人は私を愛して居るのかしら、かう考へて見ても差しあたり「かういふ理由で愛して與れるのだ」といふ理由が原因が見つからない、また私はこの人からさういふ告白をきいたこともない然し私の心には常にこの人の心が伴つてゐるやうに何かにつけて戀しく思ふ、なつかしふ思ふ。

六月號を讀みて

中里介山

六月號を拝見致しました。編輯やら講演やら、お大體の事ではなからうと存じます。

何か相當の、お助けを致したいと存じましても、近ごろは思想が信仰一方に固まりさうで、何か云ひたいとか、云はればならぬとかいふ要求が少なくなり行くやうです。

さうして自分の愚痴を言ふ外には、文句がないやうになりさうです。

「處女が貞潔といふことを重んじなければならぬのは、一旦これを失へば、自尊の精神を害し自分の犠牲上に大害を受けるからである、これのない女は香氣の失せた花の如しです」

とのお言葉は誠にその通です、女子に於て然るのみならず、男子に於てもさうです、併し、世に香氣失せた花でない男女が、ドレ程ありませう、私は、これを人の身の上でなくわが身の上に悲しみます。

自ら守ること固きものが眞の勝利者です、たとへ富が無からうとも、位が無からうとも、自ら守るものには、天上の尊嚴が、その人にかゞやいて居ます、その人の面には王者も慚づる事があります。

私共は、この尊嚴のこはされた人の爲に、徒らに泣くことしか出來ないのは、自身が既にその尊嚴を蹂躙された人間であるからです、あなた方の、それに發する勇敢な戰ひぶりは、私共の心ならば鼓舞して下さるのみならず、まだうら若き男女の爲にドノ位幸であるか知れぬ。

小此木武子さんの「喜捨」は施すものと受くるものとの德に二つのないことを、よく合點の行くやう私に敎へて下さいました。私は先き頃まで は前を通る僧侶を大抵は呼び入れてお經を讀んでもらつたものですが、近頃は、あまりそれをやる氣になりません、氣分と權威とが、しつくり合はぬせいだと思つて居ります。

「慈雨が無心に降れば、若葉が無心にして茂ります、若葉が無心で陸れば、人も亦無心で其下にいこふのであります、此自然のまゝの境遇にこそ喜捨も滿足もあるのであります」尊いお言葉です、三誦しました。

原稿紙に書きましたけれども、手紙であります、誌面のお埋め草にして下さつてもようございます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

西川女史の「貞潔に就て」を讀む

小木曾拾男

この書を西川文子女史に呈します。

私は、私の妻(關愛天氏女)に結婚の御祝を下された貴下方御夫婦の御厚情に對して、深く感謝の意を表します。これを機會に私は貴下にこの書を呈し度思ひます。

雜誌「新眞婦人」六月號の貴下の(貞潔に就て)を拜讀致しまして、その中にあつた、自尊自敬の念のない女は香氣の失せた花の如しですと云はれた、それに私は首肯いたします、然しながら男が婦人に對して貞潔、貞操を喧しく云ふのは「男の嫉妬」から出たものだとのお言葉には否定も首肯もいたし兼ます、何故ならば、男も貞潔を守られればならぬと云ふ、貴下方の叫も矢張り「女の嫉妬」から來たものであると云ふ事が出來はしませぬか、さすればこの「嫉妬」の問題は兩性の共に持て生れたらので道德とは自ら別個の問題であられればならぬと信じます。

女に自尊自敬の念あれば、男にも矢張り自尊自敬の念がなければならない、過去の色々の男女の不品行は男も女も共に無自覺であつたからでありませう。強ち男の罪許りに歸する事も出來ないと信じられます、男の殘酷、それに固い信念のない無自覺の女の處行が今迄の問題を引き起したものであらうと思ひます。更に未婚の男子の多くは、不品行をしても少しも之を恥として居ませぬと云ふ貴下のお說に私は大いなる侮辱を感じました。男の爲、殊更男の爲にと申します、私は今關愛天氏の女を娶る二十四の夏まで、沌潔無垢、神聖な生活をいたして來ました。貴下方は女の多くを純潔として何故男の多くを不品行と云はろゝのでせうか?女も純潔なら、男も純潔であられればならぬと信じます。私はこの淸淨な生活を續けて來ただけ、それだけ貴下のお言葉に大なる不滿を感ぜずにはなられません。女の多くが純潔である事は信じて疑ひませぬ、けれ共、男の中に偶々不品行者のある樣に、女の中にも無自覺な不道德な女のあるのも否まれませぬ、此の間獨身の男の家の隣へ、これも獨身の女が引越して來まして、男の勤に出た留守に巡査が戶籍を調べに來た時、「妾はこれ〳〵の妻某です」と云つて、獨身の男の妻に成り濟してゐた、その事の知れた時、男は非常に腹立しく思ひました。彼の女は何故そんな虛構を申立てたものでせうか、腹には何處で造へたか私生兒を宿して、人目にも分る程でしたから、彼は良心の苛責に某の妻だと申し立てた事と思ひます、その男こそ私であつたのです、飛んだ濡れ衣を着た詳しい事情はいつかの萬朝報に載てをりました樣に、私はその時女の不道德を怒りましたものゝ、彼はその時既に住ひを替へて、何處へ行つたものとも知れませんでしたこんな事實を見せつけられた私は今の貞潔問題が強ち男の罪許りでもないと信じられます。

男女が互に貞潔を强ひて、聖なる結合を行うと云ふ事は兩者間で「道德呼ばり」をせずに眞面目に自覺するにあると思ひます。私は貴下の男性觀に不滿を懷いて失禮をも顧ず妄言を呈しました事を何うぞ幾重にもお容し下さいまし。

貴下方御夫の御健康を祈ります。〔四、六、三〕

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

斷片語

大月高陽

□

弱いものが女だと云へば話はそれまでだが、少くとも自分にはそれで滿足することは出來ぬ。

私の今知つてる婦人で、種々に思ひ惱んでる女がある。

『嗚呼厭だ、する方爲す事、皆私の氣に合はぬ。』

と、會ふ毎にその人は私は夫の愚痴をこぼす。私はその婦人に同情する。その夫は養子に來て間もなく、隱し女を拵へたので、嘗てはそれが公然とその婦人の眼に止まつた事もあつて、一度ならず離婚話の出たこともあつたのだから、厭だと云ひ、且つ氣の合はぬと愚癡をこぼすに理由のあることは萬々認めずには居れないけれども、貞操を重んずると云ふことは、愚痴つくことであつてはならぬ。

□

その女は私と知り合ひになつて彼是れ一ヶ年になるが、何時も〳〵愚痴つぽく貞操觀を説く。けれども、今彼女の實生活が何んなものかと省みる時に、私はそれが愚痴としての貞操であることを悲む。

その女は厭だ〳〵と云ひながら、子の爲めとか、世間の手前今更離緣もならずとか、樣々な義理に纏綿して、不徹底な生活を續けて居る。勿論、そこが小説などに描かれる、世の中は斯うしたものだと云ふ人情味と云ふものであることをも私は承知して居る。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

けれども、さうした生活は悲惨なものである。悲劇は觀賞の對象としては美しいものだか、さうした悲劇的の實生活そのものは、一刻も早く厭離しなければならぬ罪惡である。

厭離の力を持たない貞操觀は弱い女の愚痴にしか過ぎぬ。

□

私はその婦人の不徹底の生活を觀測することに一方無上の興味を持つ。その婦人には嘗て夫を亡つたと云ふ悲哀が濃厚に心の隅に殘つて居る。それと同時に、その女は中年の女として、今の夫を厭離しては、再び杖柱を失つた生活に歸らなければならぬ來る可き生活の恐怖を持つて居る、そしてその貞操觀を主張する毎に、來る可き絶望的孤獨の骸骨に氣味惡く觸れさせられて居ることを明かに觀取する。

情緒の上に立つ人生觀貞操觀の如何に果敢なきものであるかを、人々は痛切に感せなければならぬ。

□

私は今の女に、もつと〳〵厭離の念を強くして貰ひたい。絶對的の獨特の悲哀に深入りをして貰ひたい。戸口でマゴつかずに、ずん〳〵寂寞の心境を突破して貰ひたい。夫がなくなつたから寂しいと云ふ感じを、最つと〳〵突き進めて貰ひたい。偶には出家して尼寺にでも入り兼ねまじき女の澤山出ることを希望する、それ程に貞操觀そのものを意力の上に置いて貰ひたい

この頃、奈良の女子高等師範學校の生徒が五十名許り菩薩戒を受けたとか云ふ話だが、そんな女が多く出て欲しい。

□

若しそれでなければ、ウント俗の生活に頭を涵して貰ひたい、夫の不潔行爲も平氣で見て居て、ドシ〳〵妻たるもの丶生活に停滯なからんことを期する女が出て貰ひたい。

何にしても、中途半端な心が一切を賊する者である

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□

自分が斯く云ふ所以の理由は、如何に貞操を云爲すればとて、それが生活を停滞さすものであつたなら、これ程罪惡の深いものは無いからだ。

私の知つてるその婦人は、夫の愚痴をこぼす裡に、不知不識、一家の生活そのものを停滞させて居る。赤坊への注意が足りない。座敷は汚れる。洗濯ものは溜つてる、子供は陰欝にしよげて來た。親類縁者には不義理が重なつた、それも夫が不品行だからだ、弱いのが女だからだと云へば、話はそれ迄である。けれどもそれは私の與する所のものではない。

私は大聖か否らずんば大俗が好きた。中途半端が何よりも嫌ひだ。

十二歳から廿一歳迄の女（續）

みをつくし

第二　信教心發芽時代

娘時代の第一に起る心的變動は「自覺」である事は前に述べた。さて次に起る動搖は何であらう。それは「信教的刺戟」である。之は當然娘の心を支配するもので又其力は可なり強い。八歳より十二歳位迄の娘の心には自然に信教的の發芽を見る、そして彼女の行爲は其信敎及道德の信念によつて得たものゝ範圍内で律せられる。尤も恁うした時代は比較的短かくて、肉的變動が烈しくなるに從つて其度を高めるものである。かゝる覺醒は全く少女時代に屬するもので、而かもそれ以後尚心的に又肉的に發育し成熟した時に於ける信敎的感念の基礎を築くものである。換言すれば、かゝる感念の發芽時代は八歳より十二歳迄で、次に起つて來る眞面目で且つ精練せられた考へは十三歳より十八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

歳──平均十五歳の時である。

さうした感念は長い間見えないで心の奥に養はれて居たのが、説教を聞いたり、書物を讀んだり又は何かの事件──特に悲劇的事件に遭遇して急に心の奥の方から其頭を持ち上げて來る。即ち其原因の何であるにせよ、それは既に用意せられて居た導火線に火をつけたのに過ぎない。又時には何等さうした原因なくして靜かに徐々に信教的自覺の目ざめて來る事もある。恁麼場合には、かうした感念の起つたと云ふ事實は明白であつても、其原因が何であつたかは彼等自身にも判らない、然かも一旦頭を上げた自覺は決して忘れない其外形の何であるにせよ、娘から女になる過渡期に於ては、何等かの信教的自覺時代を通らなければならない。

──信教的疑問は往々精神的覺醒を起す──

精神的覺醒が起るとそれに次いで心の動搖が色々の形式で顯はれて來る其中で最も普通なのが信教的疑惑で即ち教義や信條に對する疑ひの眼である。例へば聖書の感化、神の存在、キリストの尊嚴、不滅及贖罪の信條と云つた總てさうしたものを疑惑の目的物とする或る場合には、神の品性──神の愛、神の眞神の慈悲と云ふ樣なものを信じないで、尙それから進んではその不信を擴げて總ての事物に及ぼす樣になる。

然しさうした不信は直ちに無神論の表明的感念だと決定したり、有意思的の不信仰だとするのは甚だ早計である。是れは娘の心的成長に附隨して心の動搖時代には當然起るべき顯象であつて、即ち自覺、獨立、自我等の感念の出生である。娘はかうした感念を通じて絶對的の眞實を發見せんとする。生活の經驗と總ての事物に對する不信とは其結末に於て必ず絶對の眞實を生み出さなければならぬ。

斯の如くに信教的疑惑が起るや否や、何等疑ひなくして心に受け容れられた諸種の信仰は、從來の全く自由で純であつた判斷に對して頭をもたげ、兩者の間に平均を得やうとして爭ひが起る。即ちそれ迄の間には必ず何事に對しても躊躇と動搖との時間がある。然し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

だん〳〵年月を經、經驗を積んで、道德的に自己の判斷力が形成せられる樣になれば、娘は色々の事物に對して大膽に安全に判斷を下す樣になる。

それ故に、精神的覺醒のない刺戟は其結果は何うしても不完全であつて、心の不定、不安、憂鬱、神の宥免の疑問等に苦しめられる。之れを「罪の確知」と云つて不完全なる自覺が其原因をなすのである。

短かいにしろ長いにしろ或る期間信敎的の苦惱の後には、丁度攪き廻した泥水が落ちつく樣に、心の平靜と宥免の智覺とが甦へつて來る。之れを「悟道」と云ふ即ち眞の信仰に入つたのである。しかし斯の如く平和と歡喜と光明とに充ちた悟りを得れば甚だよいが、時によると其落ち著きが來ないで、何時迄も心の動搖が絕えず、其結果勞れ切つた心は病的になり、ヒステリカルになる事がある。又、人によつては心の動搖も惱みもなくて、至極靜かに穩やかに信仰の階段に昇り始める人もあるが、さうしたのは大悟の域に進む事は出來ないのが普通である。

――大なる宗敎的活動は續て起る――

精神上の動搖の形式は何であるにせよ、大なる確固たる宗敎的の心の活動は續て起つて來る。そしてそれ等にはこんな種類のものがある。或る娘は何か宗敎的の仕事をやつて見たいと熱望する。或る者は感情的の牧師のお說敎を聞きたがる。又或る者は何か善い事をしたい、何か秘密に慈善でもして見たいと熱心に考へ込んで日を暮らす。勿論親や兄弟に娘として盡すべき正當の義務なんか忘れて居る。兎に角中庸を失つて居る。

斯の如く信敎的動搖時代に遭遇して居る娘を持つた親は、明かに自分の考へを宣言するとか誓言するとか云ふ方法を採らせる樣に仕向ける事は大切な問題である。斯樣な動作に於ては、一般の娘は何うにかして確固たる云ひ表はし方で烈しい感激を表はさうとして熱望して居るものである。だから一定の儀式なり、洗禮なり、正式の敎會加入なりをさせなければならぬ。さうした事は此の好機會を逸して一人前の女になつて、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

心の平靜が來た時には最早や遲い。さうかと云つて强請的に壓しつける事の不可なるは勿論で第一に本人の自由意思を認める事を忘れてはならぬ。何故と云へば此の時代には全神經系が非常に感じやすくなつて居るから、本人の意思に反して無理强ゆる事は其結果をヒステリヤや神經衰弱等に導いて行くからである。卽ち之れは復活の危險な方面である。時には信教的の心の動搖がそれ自身で憂欝性になり理性外の方面に發達して行く事がある。そして遂には睡眠不能になり、食慾の減退を來たし、常に陰氣でクヨクヨとして暗い氣になり、何か大きな罪でも犯した樣に自分で自分の心を責め苦しんで居る。是は要するに肉體的に衰弱して居るのが原因である。卽ち先天的に弱いのか、又は何か病氣でさうした體になつたのである。

だから先第一に其病源を發見して根治する必要がある。さうでなくて枝葉ばかりを責めるのは娘の身に取つては甚だ苦しい事で、同情のない事だから却つてヒステリアを增長させる結果に終らう。心の標準線が定まつて居ない場合には――多少でも常規を逸して居る樣ならば其救濟をなすのが第一要義である。もし心の落つきが來るならばヒステリーもほんの一時的であるが、餘りに容態が激しい樣なら其救濟は恐らく效果がないであらう。

――思鄕病とヒステリヤとの原因及結果――

娘時代にのみ見られる特種の精神的變態はホオムシック――學名ノスタルジア（思鄕病）である。普通ありふれた輕度のホオムシックに就いては述べない。ここに云ふのは其激しいので、神經系に缺點のある樣なのを云ふ。自分の家や又は今迄馴らされて居た周圍から離れたのが原因になつて、悲嘆の涙に明け暮れ泣いて居て夜も睡むられない、食慾も殆んどなくなり、健康を全く損じた樣なノスタルジヤに就ての話である。病源は先づ第一に家に離れた事、次には今迄見たり聞いたりして居た物や親しく交際して居た友人に離れた事にある。さうした場合にはたとひ其地で如何に家庭的の組織の中に入れても無效である、元の土地なり家

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なり事情に歸へさなくては全く駄目である。だから此の病氣は女學校あたりの寄宿舍と云つた樣な所に起り易い。

ヒステリアは娘時代とは限らない、他の年齡に於ても多く見られる。特徵としては何か或る病氣の症候の不隨意的模倣とでも云ふべきもので、此の病氣にかかつた者でなくては其模倣は出來ない。其原因をなすものは精神的のものでなくて他の病氣である。だから矢張り其病根を除くのが卽ちヒステリアを治す事になる而してこゝに注意すべき事は、側に居る者は決して病人に「お前はヒステリアにかかつたのだ」と云ふ暗示を與へてはならぬ事である。總て病人はさうであるが特にヒステリヤの病人は、さうした暗示を與へられる場合には、病氣をよく重く見て、自分で一層わるくしてしまう。だからさうした場合にはつとめて精神上の慰安を與へて、病根たる他の病氣を治す事を計るのが一番効果がある。

——娘時代の精神錯亂——

昔から劇に殘つて居る狂亂は大抵と云ふより皆若い女である。今日でも婦人の發狂と言へば若い女に限られて居ると云つてよい。四十歲とか五十歲とか云つた老年の婦人の發狂は甚だ少い。何故かと云へば十六七歲頃には前に云つた樣に精神上にも肉體上にも一大變化が起る。其心的動搖の激しいものが精神の錯亂である。從つて餘りに若い時や老年よりも十七八歲から廿一二歲迄の間に多く見られるので、此の年頃の娘は大概幾分づつ精神上常規を逸して居る。たゞ一時的であるか連續的であるかの差である。此の年頃は一生の中で一番神經が過敏の時であるから、何かの拍子に激しい感激を與へられた場合には其不健全な精神に全く異狀を呈してしまふのである。

然し精神錯亂の一大原因と云ふべきものは遺傳である、遺傳の各條項は總て青年期——十七八歲の成長期に於て特に其等の徵候を表はすものであるから、精神病發生の一大原因は遺傳によるものとせられる。次に數へられる原因は性的機能——生殖機能の發育である

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

娘時代の精神錯亂には二つの種類がある、即ち狂癲と(マニア)と憂欝病（メランコリヤ)とである。而して兩者共に、其處には必ず迫害の幻想を伴ふ、それは普通友人とか、四圍の關係者の中から病人によつて空想的に選定せられた迫害者である。さうした人々は病人に何か危害を與へる人と定められてその確い暗示が病人の心の中に造られるのである。而かも多くの場合に實際の迫害者ではない、幻想的にさう定められるのだ。

此の病人は平時に於ては單にメランコリイであるに過ぎないが、定期に又は不定期に何か感情上の動機とか、天候溫度とか又は月經等の誘導によつて狂態が表れはる。

娘時代に起る上記の原因による精神の錯誤は、此年次以後に起るものよりも囘復し易い。實際其治療が當を得て居たなら多くの場合に普通の精神狀態にかへす事が出來るものである。

其治療については勿論、時期の後れない間に速かに專門醫師に依賴するにある。そして周圍について居る關係者の心得や看護の方法も亦非常に大切である。即ち精神を刺戟する事や、腦を疲勞せしむる勉强等は全然さけなければならぬ。然し何も仕事のない事は却つて病氣を苦にしたり自分で更に病勢を募らせる樣な事を考へさせ、精神錯亂に對して借勢的傾向を與へるから、必ず病人の氣に合つた本人の欲する一定の仕事を與へて置かなくてはならぬ。無爲は却つて精神を疲勞させるものであるから誤つてはならぬ。

又さうした精神病の遺傳のある娘に於いては、月々ある官能の變動即ち月經に就いては、健全なる頭腦を繼承した娘よりも一層深い注意を拂ひ、少しでもヒステリヤや異常の精神興奮の症候があつたら決して輕々しく看過してはならぬ。それは他日必ず重大な形になつて顯はれてくるから。充分なる夜の睡眠と安眠妨害を防ぐ事とは大切な注意である。(續く)一九一五・六・六

次は第三道德的恍怖時代である

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婚約

有髪尼

六月一日の夜であつた——君の枕邊近く初めて坐つた夜であつた。こんな病氣になるのであつたら早くいつしよになつてしまへば良かつたと、にぢみ出る涙をハンケチに押へてゐると、

まだ起きてゐてくれたの……もう何時？

お目がさめまして、今一時打ちましたの、氷でもお口に入れませうか、あの又濕布を取かへませうネ、

と私は水にさらされた古い木の根かなぞの樣に瘠せ細つた手を握つて、

どうしてこんなにお瘠せになつたでせう、しつかりして早く良くなつて下さいまし少しでも良くおなりになつたら今度こそはどんな事があつても早くいつしよになつてしまいませう、私はもうこんなお姿を見ましては、とても離れちや居られませぬネ早く治つて……

と一層かたく手を握ると君は淋しい面にも幽かなほほ笑み、

あゝ……だけど僕は死ぬのじやアないかしら——大變世話になつてしまつたネ洲さん僕は君に濟まない……かんにんして……

と握りかへしたまう五指には最早その力がない、

僕は疲勞してネ疲勞してゐるのだよ、

と私の顏をぢつと見つめた君の眼には恐ろしいほど淒い程感謝の熱涙眞實の光りがあふれてゐました。私はもう病が傳染しやうとどうせうとまゝよ、共に死ぬなら却つて本望

ネ貴郞と呼びます、洲子と呼捨てゝ下さいまし

私は初めて——互に想ひ交して六年後の今はじめて死

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

花柳病豫防液

ゼニール

專賣特許

旅行家ハ必す本劑の携帶を忘れ給ふな

「ゼニール」は花柳病の感染を豫防する未曾有の特効を有し之を裝置する安全注入器は携帶至便小形堅牢なる特許品にして秘密使用に恰適す、花柳病の恐るべき害毒を知る諸士の忘る可らざるは此「ゼニール」本店は勿論何處の取次店も大に歡迎す決してきまりわるがり又は僅の金をおしみ給ふな、特に夫に病疾ある妻君は是非此藥を用ひられよ、說明書あり申込あれ

[illegible]婦人は藥液ばかりでも間に合ひます

定價

特製（器械藥液）一組二圓
甲種（器械藥液）一組壹圓五十錢
乙種（器械藥液）一組七拾五錢
藥液ゼニールのみ一瓶廿五錢
送料各入錢

發賣元　精錡水本舖　岸田吟香
東京銀座貳丁目
振替東京四七八七番
電　京六一五番

精錡水創製者

岸田吟香

登錄商標

岸田目藥 精錡水

彼ノ有名ナル米國大博士ヘボン先生直傳ニ係ル眼病一切ノ靈藥ニシテ現代我ガ國ニ於ケル目藥中ノ「オーソリティー」ナリ

新しき家庭には常に新鮮なる食物を要す風味會は斬新なる方法を以て常に新しき食物を御家庭に供給致候

顧問 松原新之助君
三宅秀君

風味會

麻布區材木町七番地
電話芝三一四九番

委細御電話又ははがきにて御問合を乞ふ

家傳靈藥

ぢの藥

自宅ニテ安全ニ治ル

●イホ痔●痔痒●裂痔●痔出血●脱肛痔●痔瘻●不灼不切現狀の儘で治療奏効頗る顯著の

家傳靈妙藥あり「ハガキ」にて申込有ば病原理由自宅自療法の說明書呈す

●東京市京橋際疊町壹番地

●製藥本舗 **小松盛林堂**
電話京橋二二九七

産婆看護婦派出
生徒養成

東京市芝區三田四國町二番地五號

東京衛生團産婆看護婦**部**

電話芝八百六十四番

部長 産婆看護婦 山下まつ子

府下荏原郡大崎町大字桐ヶ谷三百五十九番地

産婆部 大崎支局

東京市麴町區有樂町一丁目三番地

ラヂウム專門療院

電話新參〇壹六番

院長 ドクトル從五位 渡邊鼎

東京市麴町區內幸町一丁目三番地
電話新橋長二一〇〇、二一〇一番
振替貯金口座　東京一八、九〇〇番

太平生命保險株式會社

社長　中村靜嘉
專務取締役　楠秀太郎
取締役　村井貞之助
取締役　內野五郎三
取締役　前川善平
取締役　倉知誠夫

取締役　左右田棟一
取締役　舟木錬太郎
監査役　潮田方藏
監査役　左右田信二郎
監査役　中田敬義

クスリは薬ホシに限る

ホシ風薬

四季引風▲頭痛▲發熱▲流行感冒▲痰咳等凡て熱性

三包五錢　七包十錢　十五包二十錢

ホシ痔劑

痔疾一切▲脫肛▲出血を止む

二個入十錢　五個入二十錢　十個入三十五錢

ホシコロダイン

胃病▲腹痛▲中暑▲食傷▲吐瀉▲溜飲▲眩暈

小瓶十錢　大瓶二十錢

ホシビーナス

腦病▲神經衰弱▲耳鳴▲ヒステリー▲鼻茸▲不妊症

小瓶二十錢　五十錢　大瓶一圓

資本金百萬圓

星製藥株式會社

東京市京橋區南傳馬町三丁目

電話京橋(特)一七八五番三〇二〇番三二一三番(振替東京二〇五二二番)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

簡易 美顔術箱

五種携帯用美顔術箱入　特價金参圓五拾錢　送料金拾入錢

内容
- マッサージ、ルーラー　一具　マッサージ用クリーム　一瓶
- カッピング、カップ　一具　ハイジエニック、クリーム　一瓶
- フエシアル、ブラシユ　一具　使用說明書　一部

美顔術が美容と健康に偉大の効果あるは今更申上ずとも既に一般の事實です、唯口惜いのは遠隔の地に御住ひの爲に思ふ儘この幸福を都人と同様お受け遊す事の出來ぬ一事です、今回右の事情に鑑み何人にでも簡易に東京にてお試みになると同じ効果ある美顔術箱を御分ち致します

効力　にきび、そばかす、吹出物は勿論お顔のしわをのばし常に生々たる自然の色艶を出す

○説明書二錢切手封入あれ

深き自信を以てお進め致します

お若い方に殊に御婦人に。ニキビ。、。吹出物。。の出來ました位醜いものは御座いません、其に付て私共でも商賣柄の責任上常に非常に苦心をいたし良薬もがなと存じて居ました所今回幸にも其目的を達し、偉大なる効力ある逸品を得まして皆様に御報告いたす事を心から喜んで居ります

特長と効力

本品は普通薬品と其類を異にし、未だ日本に無い化粧用のクリーム體になつて居りまして、ニキビ、ソバカスを全治するは勿論、ナマヅ、ムシ、ハメケ、赤鼻等にも驚く可き効験を有して居ます、其上冬分あれ止用として二重の効果があります

ニキビ取用 理容クリーム

(アルミニユーム容器入)　一罐　金五十錢　送料入錢
特製　金壹圓　送料共

東京新橋竹川町十二、　美顔術婦人御化粧所　理容館
電話新橋一五一九
振替東京一四一〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男女應用 成美液

天性色黒き人。日にやけて黒き人。海水又温泉にて黒く成つた人。吹き出物の跡の黒き人。本劑を用ひれば色を白くするは勿論。皮質を艶麗ならしめ。何時も綺麗に美容を保つは本劑の特色にて。皮膚病學に於て既に定論ある確實なる美容劑なり。殊に、付ければテキメン色白くなり七日付ければ見違へる程白くなる。

定價小瓶十二錢◉中瓶貳拾五錢◉大瓶五拾錢◉特製濃液一瓶金壹圓也送賃二錢大四錢特八錢(切手一割増)

わきが藥

本症は頗る惡臭を放ち他人に接近するをきらはれ交際を缺き又妙齢の美婦女も有爲の美男子も良縁を失ふが如き不幸に陥ゐる人澤山あり之れを救はんが爲數年苦心して得たる新發見藥を世に紹介す多少に係はらず本症のある人は早く用ひて幸福の人となられよ

小包卅錢中包卆錢大包壹圓送二錢切手一割増

子宮サック

ゴム製にして婦人衛生上必要の良器之を用へれば淋毒梅毒の傳染を防ぎ月經時には經水の漏洩を防ぎ立居を便ならしむ委細は本品に添ある能書◎病院御用指サック二個拾錢送二錢

注意御注文は成るべく振替にて東京四六七壹番寶順堂宛御拂込奉願候

甲種一個一圓◉乙種七十五錢丙六十錢送二錢

◎月やくの

止つた時程婦人の一大事はありません若し妊娠であれば猶身體に異狀が起る爲食物にまで變りがあります又不順でも閉止でも藥療を怠れば子宮病其他種々の病を誘發す故に月經あるべき時期に無くて逆上頭痛其他身體に障り起つた時は一日も早く專門の奇藥流經散を用ひなさい此藥なら胃腸を害す副作用もなく安全に流下し身體も健全になる事ほんと。に不しぎの様です

藥代は一週分五十錢半月分壹圓特製貳圓送料不要(切手代用一割増)

東京神田區五軒町大通

振替東京四六七一番 寶順堂

腦精神病専門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨腦病院

（長電話番町三〇九八）

院長 醫學博士 石川貞吉

入院隨意

●らい病患者と血統者に急告す

秘密療法及豫防新書を送費二錢送れば無代送呈す一日遅れば千日の悔あり今直に申込め秘送は小包料八錢要

東京下谷車坂町五二 福田秋水

腦神經精神病

東京赤坂

帝國腦病院改

青山腦病院

院長ドクトルメヂチーネ 齋藤紀一

醫學士三名

田澤醫學士

特長

電話芝二七四五

電話芝二六六五

電話芝三六七四

皮膚病一切

たむしの妙薬

タムシン

本舗 東京市京橋區入舟町四丁目 橋本進世堂

腦病精神病専門

東京田端

東京腦病院

電話下谷二二〇二番

院長 後藤省吾

醫學士 黒澤良臣

本社取次書籍雜誌

西川光次郎著

ウヰリヤムブース言行錄　定價廿五錢　郵稅四錢

トロー言行錄　同

カンペッター言行錄　定價廿五錢　郵稅四錢

惡人研究（品切）　定價五十錢　郵稅六錢

續惡人研究（品切）　同

神道綱要　定價二十錢　郵稅二錢

救世軍　同

心懐語　定價五十錢　郵稅六錢

實踐道德簡易入門　定價四十五錢　郵稅六錢

偉人の戀物語　定價七十錢　郵稅八錢

新渡戸博士の『修養』評論　定價二十五錢　郵稅四錢

實驗早老豫防法　定價五十錢　郵稅六錢

高野重三著

婦人問題早わかり　定價七十錢　郵稅八錢

西川文子著

婦人解放論　定價一圓　郵稅八錢

西川文子著

新しき女の行くべき道　定價五十錢　郵稅六錢

新眞婦人合本（自一號至十二號）　定價郵稅共一圓

合本第二卷（自十三號至二十四號）　同

西川光次郎主筆

自働道話

▲四六倍形八頁
▲一部郵稅共三錢五厘
▲一年同卅錢
▲每月十日發行

平易簡明に、實踐道德、新道德を說く雜誌にして、六月號の要目左の如し。

己に對する善事（西川光次郎）盥の水（中島埼九郎）恩（記者）人を使へるものゝ注意すべき事、親分道樂（記者）淘宮一斑（竹內師水）失業者諸君へ（西川生）少年德育物語（N生）持つは難し（高鍋日統）健康問答（[illegible]愛天）

東京本郷駒込林町二〇六
振替東京二四五五六
新眞婦人社

の前の男の手を自分の口にもつて行き、
許して下さいネエ貴郎！早くいつしよになつてゐたなら同じく御病氣なさるとしても……こんな淋しい情ない愁らい思はおさせ申さなかつたのですが……いつも申上げます悲しい私の身の上、父と祖父との病をおもひますと私はいくら思ひ焦れても戀しい貴郎の血統をけがしともない――次代の我子に又私と同じ悲哀を殘しともない、それのみか世間の誤解の厭はしさに貴郎の想も叶はせず此身も又今日までは愁い心を自ら殺してゐたのでござんすネ許して下さい蝶様！假令貴郎は今宵お果てなされても洲子の心は未來永劫貴郎の妻でございます、
と私は男の胸に面をあてゝ思ふ存分泣きました。六年の間の長い年月忘れんとして忘られぬ我が戀に悲しき夜々をひとりねの枕に念ずる普門品、たゞ〳〵希願は君が身の上幸あれかしと、ひとり泣く夜は數知れなくも嘗て男に涙を見せた事のない洲子が初めて男の胸に流した血の涙……

あゝ僕は――僕は十二分の滿足ですぞ洲さん、君はどうぞ幸福に暮して下さい――僕はもう死ぬ―死ぬなら早く死にたいよ、斯うして君が側にゐてくれる中に僕は死んでゆきたい、
と君が力なき兩手と、骨もくだけていつしよになれと固く結んだ私の手とは君が苦しい胸の上に重ねたまんま四つの眼から流るゝ涙は……
ネどんな事があつても洲子を信じてゐて下さいまし、他人に言へない事でも何でも私には仰有つて下さるのですよエ、貴郎様ござんすか分りましたか、
と握つたまゝの双手を搖ると君は涙の目を見開いて
洲さんには誠にすまない――すまないけれども僕は君を信頼して逝く！夢子の事をネエ洲さん、どうか君が生んだ子だと思つて育てゝもらひ度い……
分りました……もうそれ丈ですか、夢ちやんの事は私がたしかに引受ました――蝶様よ洲子は生きた女です安心してゐらつしやい、きつと、きつと私は命に代へても夢ちやんの身は護ります、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と言葉と同時に自分の心に誓つた私の決心！
有難う――忝けない洲さん、濟まないけれど賴みますぞ、君も身體を氣をつけて――しつかりしてね狂と云ふ字は今日かぎり忘れてしまひなさい………
と、それから後は半夢半醒、
翌二日は心身ともに安靜に夕暮なぞには尋ねてくれた私の友人にも世間ばなしの一ト言二タ言云つてゐましたが十二時頃より俄に發り――醫士の急診――カンフル注射の一回二回三回も遂に甲斐なく三日の曉五時三十分には
洲さん僕は逝くよ――ポツリ〳〵と歩いてゆくのさとそれなり君はひとり安らかに、とこしなへに歸らぬ國へと旅立たれてしまつたのでございます。其の後の事はもう洲子はおはなし致す勇氣はございませぬ。
あゝ人生四十五年志を廣く海外發展にもち自ら進んで南米に遊び自ら書を著し渡航者の便を圖りし君が業半にして病魔に誘はれ呻吟五ケ月而かも私如き一少婦の僅々二日二夜の介抱に淡き滿足を得て逝きしをおもへば――薄倖の人よ數奇の君よ、我が愛人よ戀しき人よ君がみ靈や今いづこ願はくば安んじたまへ君が遺愛兒夢子の身は今何をか夢むらんほゝ笑む寢顏安らかに洲が机の傍にあり――愁らさは人世、悲哀は私と離れぬ運命でせうか、否否否私は泣いてはゐられませぬ故人の愛に報いる私の任務は夢子の敎養――私の。趣味の修養はこれからだと存じます。（大正四年六月十七日夜一時十五分）

お斷

俳句の原稿をこゝに一頁入れてあつたのですが頁數の都合で印刷もれになりました、刷り上げなければならぬ今日となつて今更何とも仕方がありませんが讀者のすみ子先生と御投稿者諸姉に厚く御わびいたします。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

內氣な令孃の氣質矯正

池田勤之助

出しやばるのが婦德でないなら內氣に過ぎるのも同じく惡德であると申して宜ろしい。淑女といふと必ずしとやかな婦人を連想するが、しとやかと言へば起居動作のみやびやかな言語擧動のおちついた事で、落ついてとか物しづかなとか言ふことが婦德と言ふには敢て異論はないが內氣となると少しく相違あることを辨せねばならぬ。それは前の婦德に似て非なるものであるからである。それは遠慮に過ぎる事控へ目がちな事で、出過ぎの正反對と言つたら明であらう。此氣質が何故惡德だかと言ふに其中に畏縮といふことを含んで居るからである。畏縮がちな氣質、これは誠に厄介な氣質である。それが爲に當人の招く損失の莫大なばかりでなく人の危急をも見過しにして人の爲に盡すべき善行を避くる場合が少くないのである。此消極的な氣質に心附かで我知らず惱むもあらう或はそれと心附いても矯正の道のないのに苦しむ人もあるであらう。此に成功の實例を擧げて矯正の出來ぬものでないといふことを御話しやう。近時不圖人身磁氣に關する一書を繙いたところが其は佛國で人身磁氣の妙用を自ら實驗して丁度催眠術を商賣にする人のやうに磁氣の應用を渡世にする人が書いた實驗談であつた。人身磁氣の妙用は、人を引き着ける力を生ずるとか病を醫やす力だとか他人に背後を向かせるとか樣々であつたが就中氣質の變化を來らすといふのが面白く亦有益に思はれた其方法は後に說くとして或令孃の實例を述べた方がよからう。或時此先生の許へ一人の令孃がやつて來て言ふには、自分は何所へ行つても人に蔑にされ有るか無しの取扱を受けます。道路を步けば先方で避けて

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

呉れるといふことは無くて必ず人の爲に押し除けられ商店へ買物に行けばお花客の待遇どころか、あべこべに取扱を受け此方から丁寧にすればする程益々馬鹿にされ嘲弄され甚だしきに至つては劍突を喰はされて歸りまする。常に此んな有樣で殘念で御座いますから一つ先生の御敎導を願ひ度いと言ふのである。然らば先づ實地に就いて檢分して見ませうといふことで先生は少々の距離を隔てヽ令嬢の後を追うて行つた。往來の繁き街頭に出でて往き來の人が令嬢に對する擧動如何にと視察するに、こは如何に婦人に對する禮儀は何所令嬢は道端の草の踏み附けにされて右に避け左に避け突き除けられ押しのけられる可憐の有樣、後から見て居る先生は忿懣に堪へず此等の人々に鐵拳を加へてやらうと思ふ程であつた。それから商店へ入つて見ると是も亦前に令嬢から聞いた通りの始末であつたので先生は檢分の結果それは皆此令嬢の畏縮性が然らしむるのであるといふことが解つた。此旨を令嬢に說明して其から此內氣な、しりごみな、消極的な氣質を矯正することに取懸つた。此に其方法を說明しやうとするには人身磁氣の事と其を增加する一般練習法を說かなければならないから一寸の間に合はないが然し大略の理法は後に說く所で知ることが出來る。扨いよ〳〵練習も積んでモウ大丈夫と思ふ頃に先生は再び令嬢の後について實地の檢分に出懸けた。すると此度は前日と打つて變つて往き來の人々が令嬢に對する態度は宛ら內親王殿下の御通行に對するが如くであつた。商店に入れば是も天地一變、恭敬慇懃な待遇であつたと言ふことである。悠々と凱旋した令嬢の姿が想像せられる。

偖人身磁氣といふのは著者の言ふ所では、人には人身磁氣といふものヽあることは既定の事實であるが、未だ學理的に說明する所迄行つて居らない、其學理的說明は將來の事として活用は知らず知らず人の間に行はれて居る。他に優つて人心を支配し人を號令する力が具はれる人と其んな力の微塵も具はらない人とあるがそれは一方は人身磁氣の強いので他は弱いのである。而して天禀の厚薄は人力の如何ともし難いものヽ如く

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

思はれるが決して然うでは無い。練習によつて弱者も强者に變化することが出來ると言つてある。著者が又言ふ通り人には人身空氣がある。或人に接近すると鬱いだ氣分も自ら開けるやうな心地して快活にせられ或人に近寄ると明るい氣分が打消されてじめ〳〵した氣分に引落されて了ふ。是は日常人々の經驗する所で内に隱れて居る心持ちが其人の空氣となつて外部に顯はれ而して何よりも正直に人に傳達するものであるといふことは蔽ふ可らざる事實であらう。是が磁氣との關係は別問題として人心が人心に傳はることを知るのが寧ろ根本の必要であらうと思ふ。然れば著者の練習法を心の練習と身體の練習とに二分すとして、予の見る所では身躰の練習の方は客で心の練習の方は主であらうと思はれる。氣質變化の如きは全く然うであると言つても可い。人身磁氣のことは强ち卒業しなくとも陰鬱な氣質を陽氣な氣質に變へる位のことは誰にも出來さうである。次に一二の練習法を記さば思半に過ぐるであらう。假令ば消極的な氣質を積極的に變へやうと思ふなら練習の一として、積極的な氣質と消極的な氣質とを對照的に東西に書き並べて置くのである。即ち信と疑、勇と怯、勤勉と怠惰と言ふやうなものを二行に書き並べて置いて其一方を一つづつ養成し一方を一つづつ撲滅するやうに心懸くるがよいといふので此等は普通のやり方で別に奇拔な事でもない。更に進んでは人を引き着ける力が生ずるとか他人の後から背後向けと心で命令すると其人が背後を向くといふやうな事も出來るといふので其練習法の一は大きな鏡に對し自分の寫象に向つて命令を下すのである。「君は僕に從へ」。「君は僕に從はねばならぬ」。「君は僕に從ふべき筈である。」と言つたやうな風に種々な文句で手詰の談判をする。これを毎日練習する。それがやがて人を號令する力となり默つて背後を向かしむる力となるのである。其他呼吸法手足の運動など身體の練習もあれど前に言つた通り左迄重要ではないやうに思はれる。畢竟は心の練習に歸するであらう前に擧げた令孃の例もこんな風にして其内氣な氣質を矯正したのであらう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

健康問答

(問) 成るべく多く水を飲むと、健康の爲めに甚だ宜しいとの説がありますが、ホントでしようか (夕生)

(答) ソウです、食事の時には成るべく水を飲まぬのがよいのですが、朝起きた時に清水をコップに一杯飲み、朝飯後二三時間して又一杯飲み、中飯後又二三時間してから一杯飲むと宜しい。蒸溜水か煮さました水を飲むのが一番宜しいのですが、ソレが面倒でしたら、水道の水にレモンの汁、一滴を落し、若しくば食鹽を少し入れて飲むがよい。

我國では、昔から、瀧に打たれたり、又は神様に供へたお水を頂戴して飲んだりして、ソレで病氣の治療を計つたものであるが、之れは今の言葉で云へば水療法で、道理のあることなのです。

(問) 便秘は以前から私の習慣でしたが、此の頃は、ソレが一層甚しくなつて、身體がダルく、腦の働きもニブリ出しましたが、何にかよい養生法はありませんか。(K女)

(答) ソレは貴女の職業が坐業的なので、運動不足勝ちだからでしよう。朝早く起きて冷水を一杯飲み、朝飯前に三十分位も散歩することになさい、午後は又、成るべく早く仕事を切り上げて、夕食までの間、少なくとも一時間位、洗足にでもなつて、庭の掃除をしたり植木に水をやつたりなさい。戸外の空氣を成るべく多く呼吸することと、日光浴とは、人の健康に極めて必要なことです。

米國のトローと云ふ人は、毎日成るべく多くの時間を戸外で過ごすことに注意した人である。又日光浴の大切なることは、サハラの沙漠へ行てオシスで一週間も過ごし、充分日光浴をして來れば、大抵な病氣は癒ると云ふので、近年サハラ沙漠へ腦病を癒しに行く歐羅巴人の増えたのを見ても知れる。

(問) 近來何んとなく氣力すぐれず、何になする氣にもなれませんが、これはどうすればよいのでしようか。(チ生)

(答) 前の人の質問に答へてある、戸外運動と日光浴とを爲さると共に、毎日、一時間位づつ何んにもせぬ時間と云ふものを拵へ、其の時間が來れば、靜かに一室へ退いて、安靜に仰臥し身にも心にも、ノビノビした感を與へなさい。暫らくソウして居れば、キット氣力が回復して來ます。或は或地點まで汽車で行き、ソレから或地點まで一週間か、二週間徒歩旅行をして來るのもよいでしよう。

健康の維持と云ふことを、私は此の頃大切に考へる樣になつて來ましたので、毎日幾分の時間をさいて、健康學の研究をして居ります斯くして得た知識を同好の士に分ちたいとの趣旨で、本號から本誌に「健康問答」欄を設けましたから、健康に關する事で質問したき點ある方は、遠慮なく質問して下さい。自分で分らぬことは、ソレゾレ然るべき人々に問合せて御答へします。(西川光次郎)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

手紙の返事

文子

私は毎日田舎から都會に出たい〳〵と云ふ意味の御手紙をたくさん頂きます、それでＫ様の御手紙を地方にある方々の代表的のものと見て、さうした方々への御参考にもと、Ｋ様にはすまぬ事と存じますが、Ｋ様の手紙の全文と私からの返事をのせる事にしました、今後毎月『手紙の返事』と云ふものを本誌にのせたいと存じます。

Ｋ様より

すつかり御不沙汰をいたしました、どうして謝罪いたしてよいか言葉がありません、あなたがお忙がしい中を細々と御手紙下さいましたのに其お心づくしはどんなにうれしかつたかしれません、すぐに御返事をと思つては居りましたが何だかへだてぬあなたにさへもこの御名筆が恥かしい程に思はれかれこれ致してをる内にとう〳〵こんなに御不沙汰になつてしまひましたけれども此の長い間いつもすまないなつかしいといふ二つが氣になつて今日はとう〳〵筆を取りましたどうか長い〳〵五ケ月の間も御返事をさし上げませんでした罪は許して下さい、斯様に御不沙汰を致して居りましても毎月お送下さる新眞婦人誌はどんなに〳〵たのしみ深く拜讀致してをりますかしれません何れの記事を見ても成程最もだ斯様になくてはならぬかくありたきものといち〳〵お説同感でいつも御誌が着するとどんな用事があつても立がゝりでも一通り目を通さぬ時はありませんあなた方が御活動のおかげにどれ丈婦人の價値が高められたか又どれだけ眠れる婦人の心をさまして下さつたかしれませんこんな活動家が私の親友にあるといふ事はどんなにうれしいか私としてどんなに自慢かしれません先きに奥州饑饉の救濟の大活動振といひ又次では去十五日婦人問題に付大演説を開催さるゝなど實に感喜の外ありませぬさぞ盛大な事であつたでしよう何れ其記事は六月號に御掲載の事と思ひますから五六部送つて頂きたい此地方の人形さん然とすまして居る方々にさしつけてやります田舎といつても私の地方はどうしてこんなに意氣地がないのかと思ひます先此地方では私の様な寡婦にでもなつた身な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らば世をすてゝ死をまつ覺悟で數珠でもつまぐり寺詣りばかりしてをれば地方に評ばんがよいのですけれども私はどうしてもそんな心になつては居れず最も力もないくせに出しやばりすぎるものですからお轉婆などと兎角批難されるのです田舍がいやで〳〵幾度飛び出さうかと思つたかしれません子供も幼時は田舍もよろしいが女學校中學校などとなりますと不便極まりますから幾度思つたか知れませんが何といつても身にかゝつて居る重荷をどうする事も出來ませんのでやつぱり人形の仲間入りをしてます〳〵時代に後て過しますあなたは兎に角社會から目星を付けらるゝ位置におなりになつたのは實に感服の外ありませぬどうか社會の爲めます〳〵御活動して下さる樣願ますいろ〳〵申上度事は山ほどありますが筆が運びませぬから折を得て御目にかゝり候上に讓ります御自愛祈り入候

K樣へ

K樣おこま〳〵とのお手紙ありがたう、私は貴女のお手紙を頂くと、上書を一見した丈で、もう學校時代の氣分になります、在學中の休暇や貴女の御卒業後寄宿舍に取殘された時に頂いたと同じ心持に、そして私は貴女を昔のまゝにお姉さんと思はずには居られません、だから『此御名筆が恥かしい』などゝは笑談にも云つて下さいますな、昔から字の下手な私はペンで每日なぐり書きをいたしますので、こんな大變な字ですもの、私は貴女の益々御達筆な、確としたお手紙を拜見するにつけ、大家の奧樣としてキビ〳〵と切り廻してゐらつしやる樣が眼に見る樣に直覺されます（それは國の私の姉さんも同じですから）そして田舍の多くの人は現代の傾向がどうあらうと、思想や議論や趣味は自分達には沒交渉だとやうに棚の上に上げて、食べる事と、着ることとより外には頭腦をつかはない、そうした周圍の空氣に取りまかれて居ながら、貴女が新眞婦人をどんな忙がしい時にも何はさておいても樂しんで御覽下さるつて、何と云ふうれしい事でしやう、それは私が貴女を昔ながらにお姉さんの樣に思ふ樣に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

貴女も私をやはり妹の様にはら〳〵と危なつかしく思つて下さるからだと思ひます、其の氣分でこそ、こんな新らしいお考、こんな書き振り、こんな立派な文字を拜見する事が出來るのだと私は本當に喜しくて堪りません。

嘗て私が不幸にあつた時、『同じ人がないから結婚しない』と云ふと『では又死ぬ人と結婚しなければならぬ』と親切に忠告して下さつた、(當時は私は大變腹だてた樣でしたが)あのおやさしいお良人に先きだたれなさつた事には限りないお同情致します、然かし何で寡婦になつたからとて世捨て人同樣にならなければならぬと云ふ事がありましやう、第一お子樣方の心持ちにもなつて見て上げて下さい、末つ子であつた私は兩親の年寄りであるト云ふ事が一番恥かしく悲しかつたのです、故鄕から上京して面會に來られるお友達のお母樣の若いのがどんなに羨やましかつたでしやう、それを思ふと私達は何時までも若く時勢におくれず小供のよきお友達となるのが小供にとつて尤もうれしい事ではないでしやうか、それを思ふと死を待つ覺悟で數珠つまぐるなどは小供に取つてなんぼ心細いことか知れません、寧ろ新らしいものに共鳴し、陽氣に新進的に引立て丶行かねばならないと思ひます。『又こんな田舍は飛び出したい』とお思ひになるのは、一度でも都會生活をしたものは田舍に引込んでゐると屹度さう思ふのです、第一話せる人がなくて淋しいし、第二刺戟がなくてわけもなく時勢におくれる樣な氣がします第三都會の思ひ出が樂しく面白く、田舍ではあれも出來ぬ、これも出來ぬと思はれる事だからです、然かし多くは空想で想像や追懷で、回想は凡て美くしいものですが、現實に、都會生活と田舍生活とを同時に考へて見ると、確かに田舍の方が呑氣で、都會の方が苦しいのです、たゞ田舍では田地や家屋敷もなくて生きて行かれないものと、積極的に理想、主義主張を行うために生活以外に永遠にのびて行かうと云ふものとの兩方面のもの丶住む所は都會でなければならないのです然し地方に地盤のある人が都會に出て來やうと云ふの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は、向上でなく却つて敗北かも知れません、又郷黨の人々もさう云ふ目で見送るのです、其の心理狀態が小供さん始め、一家のものに移るので淋しい〳〵かげを追はねばなりません、だから子女を敎育するには確かり鄕土に一家を構へてゐるにこした事はありません、鄕土にあつては一家の母としてのみでなく、一村一郡一國の母にもなり得らるゝのです、それ丈けの自信と抱負とを以て周圍を御覽になれば貴女の位置こそ此上もないゝ境遇なのです、又それが御自分にも非常に樂しく、近隣の人々からもどんなに喜ばれる事でしやう、日々の生活に追はれてゐる樣な都會生活にそんな有意義な生活を送らうと云ふのは中々むづかしい事です、他人の事は何でもよく見えるもので、都會で疲れたものには田舍が戀しく、田舍に引込むと都會がなつかしまれるものです、新進的な貴女の御心と、尊き貴女の境遇とを、周圍とお子さんとの爲めに御自愛下さい、つい先輩に向つて敎訓がましい事を申しました、不遜の罪はおゆるし下さい。

◉中元賣出しの白木屋

白木屋呉服店にては、七月一日より中元大賣出しを行ふ由なるが、近來は贈答品の撰擇をなすにも、贈り先の嗜好趣味を案じて、ソレ〳〵心を籠めたる物品を求むるの傾向あり。此がためデパートメントストーア式の商店は中元季節に於いては多數の來客を迎ふる有樣となり。白木屋呉服店の如きも、全陳列場の贈答品を山積して來客の撰擇に便にすべく、此等の物品は體裁宜き紙包、又は箱入として美麗の外裝を具ふる樣注意すべしと。尚ほ近來販賣高の非常に增加したるは商品劵なり。從前は餘りに露骨過ぐるとの遠慮立てのために、一般に贈品として取扱はれざりしに、昨今にては其の輕便にして實用的なる點が普く認めらるゝに至りしためか、中元季節には多大の注文あり。此れは金壹圓以上美麗なる箱入として調製すべしと。又一日よりは旅行用具陳列會五日よりは雜貨見切品大賣出しを行ひ錦上更に花を飾るの計畫なりと。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新發明品紹介

新刊紹介は何れの雜誌にもあるが、其他のものにても日に月にどれ丈け新工夫をこらして發明され發賣されつゝあるか分りません。それ等を研究する事も興味もあり有益でもあるので發明者と讀者との爲めに今後新らしいものは、何によらず此の欄で紹介する事にしやうと思ひます。

△田澤除蠅粉　これは醫學得業士である田澤榮氏が、安靜を要する重病人が蠅がうるさい爲めに安眠が出來ないので、何か除蠅するよき工夫もがなと云ふ動機より、多年研究の結果發明されたもので、人體に無害な事は云ふまでもなく、從來の驅除法たる鳥もち、蠅取器、蠅たたきの如き手温るいものでない。天井及び蠅の群集せる處に向つて此の粉を其容器より發出せば、少しにても此の粉の羽根につきし蠅は十五分乃至二十分間にて飛行力を失ひ、一時間後には死すゝ。神奈川縣廳にて眞黑に一萬以上も蠅の群集せる十二坪の室に此の粉を二匁撒布し〳〵切おきしに蠅を悉く驅除し得られた樣です其他南京虫蚊油虫凡てにもよい相です。(日本橋區本町三丁目里村商店發賣、小拾錢、中卅五錢、大八十五錢)

△ボルド　年々色々の飲料が考案發賣されますが、これは今年始めて發賣されたらのである葡萄酒から酒精分丈け除き少しの興奮劑を加へたもので、從來のラムネサイダー類の如く砂糖に瓦斯香料を混じた者と異ひ、飲んでスットする事はないが甘くて少しも醉はず婦人や小供に好かれます。つまり生葡萄を砂糖と水とでわつて飲む樣なもので、飲料と云つても氷水やサイダと趣きを異にし、滋養、藥料と云ふ性質のものである。(日本橋龜島町大日本ボルド商行發賣一瓶十五錢)

△萬國時差早見表　これは實用新案登錄のおもちやであるが、小供よりも大人に反て興味を與へる。今は日本の十二時であるが歐洲戰爭地では何時かと云つた風に、例へば日本が十二時の時世界各國の時刻が何時なるかを知るが出來る。(價金六錢、銀座伊東屋玩具店發賣)

序に此の頃流行の玩具はと同店主人に伺ふと、女の子には玉織遊び、男の子にはラケットボール、時節向きとしては新案の胡蝶形浮袋これは美くしい模樣の布でこしらへ空氣を入れて體につけ入浴及び海水浴に入る浮袋。なほ海濱向は砂盛する小道具器などが流行する樣である。

△旅行用美顏術箱　これは或方からの御注文で昨年海水浴に御持參なさる爲めにこしらへたのですが大變好都合だから今年は是非と方々樣から申されるので、至極御手輕に五圓どまり位に製へたのです旅行先きでも毎日〳〵海水浴を遊ばすとも限りませんから雨の日などつれづれに御自分で御遊せば日やけもふせぎになれますし、面白くも御座います、又お中元の送りものにもよろしいかと存じます、遠藤はつ子氏談。(理容館發賣)

△新製クロニック　これは五寸角位の洋菓子で落花生を粉にして入れてある極風味のよいもの一ヶ五錢(東洋製菓株式會社發賣)お中元の贈答品として殊によろしい。

和歌、俳句、小說、感想文募集

和歌、俳句、小說、感想文を盛に御投稿下さい。特に佳作に對しては賞金を御送り致します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新刊紹介

▲家庭教育の原理と實際（麻生正藏氏著）

第一編教育の眞髓、第二編教育と遺傳、第三編家庭教育に分ちて、詳細に家庭教育の原理と實際を論じたる、菊版六百頁の大著述である。記者はかれて、女子大學の學監たる著者の、婦人問題、家庭教育に造詣深き人たることを耳にして居たが、此の書を讀みて、其のかれて聞けることの虛ならざることを知つた。今日までに、我國で出版された家庭教育に關する著書の中には、之れ程纏つたものはない。文章も平明で、說き方親切を極めて居る、記者は斯書の各家庭は備へ付けられんことを熱望する。（定價二圓四十錢、東京小石川區櫻木町六、北文館發行）

△雜記帳（與謝野晶子女史著）

女史が婦人問題についてさまぐの感想を書かれたもの、婦人と政治、社會問題、雜感などいづれもきびくと徹底した議論で小氣味よく讀まれる、多くの世の婦人達がかゝる書を讀んで啓發されんことを切に希望する。（麴町區平河町五丁目五番地、金尾文淵堂、金六拾五錢）

△何處へ行く（シエンキエヰツチ原著、松本雲舟氏譯）

本書は八年前に始めて出版され非常なる評判にて讀まれ既に十三版も發賣されたのであるが、近來活動寫眞にて流行する處より尙ほ一層歡迎さるゝに至り、今度縮刷し美裝して出版されたのである。內容は既に多くの讀者は知れる事と思ふ、流石の名著丈けあつて一度讀みかけると非常に緊張した氣分で讀みつゞけられるが實はまだ中分消讀した丈けであるから委しき評は次號にしやうと思ふ。私はこんな眞に迫つた複雜なものを我國の文壇に現はして見たい、誰れかの手でも創作されたらと思ふ。（本鄕區駒込林町二三七、三陽堂發行、定價壹圓拾錢）

本社の相談部

▲本社內に相談部を設け

(1) 職業を求むる御婦人
(2) 職業の選擇に迷ふ御婦人
(3) 家庭及び一身上に苦悶ある御婦人
(4) 結婚の事

等の御相談に應じます

▲相談部の主任に面會したき御婦人は、午後五時より御出で下さい。

なほ右の件につき手紙で御相談下されば、誌上で御答へするとにいたします。

新眞婦人定價表（每月一回一日發行）

一册	（郵税共）	拾壹錢
半年分	（郵税共前金）	六拾錢
一年分	（郵税共前金）	壹圓拾錢

御注意

●註文は總て前金の事前金盡くれば必ず「盡」の一字を朱にて帶封に認む直に送金なき時は發送を停止す●郵券代用は壹錢又は五厘切手にて一割增

◎新眞婦人廣告料　特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正四年六月廿八日印刷納本
大正四年七月一日發行

本鄕區駒込林町二〇六番地
發行兼編輯人及印刷人　西川文子

本所區番場町四番地
印刷所　凸版印刷株式會社分工場

東京市本鄕區駒込林町二百六番地
新眞婦人社
郵便振替貯金口座東京（二四五五六）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

團匪事件の時に、北京の宮城から盜み出された寶物は、殆ど數千萬圓にも上らうが、其後翰林院の書棚から發見された『團匪事件紛失寶物目錄』を見ると、其中に『洪宣嬌の齒牙一匣』と云ふ一行がある。

それは、どんな齒であつたらうか。ライオン齒磨で磨いたやうな美しい齒であつたらうか。

この洪宣嬌は長髮賊の張本洪秀全の妹で、常に廣東の娘子軍一隊に將として屢々官軍を惱ましたものである。不幸金陵の陷落と共に刑死されたが、其齒は淸朝の寶物とされる迄永く殘つたものとみえる。

新眞婦人第二十七號　大正三年四月二十六日第三種郵便物認可　大正四年六月二十八日印刷納本　大正四年七月一日發行（毎月一回一日發行）

定價金拾錢